

平成25年度

# 事業報告

自 平成25年4月1日  
至 平成26年3月31日



# 目 次

	(頁)
第1 概要 .....	1
第2 事業の状況	
(1) 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業 .....	2
(2) 「教育・研究図書有効活用プロジェクト」事業 .....	6
(3) 「社会の変化に対応した独自の取り組み」事業 .....	9
(4) 「科学知識の普及・啓発」事業 .....	10
第3 処務の概要	
1. 役員等に関する事項 .....	13
2. 職員に関する事項 .....	15
3. 会議等に関する事項 .....	16
4. 契約に関する事項 .....	18
5. 申請・届出等事項 .....	19
6. その他 .....	20
[別 表]	
(1) 平成25年度笹川科学研究助成（一般科学研究）対象者一覧表 .....	21
(2) 平成25年度笹川科学研究助成（実践研究）対象者一覧表 .....	31
(3) 平成25年度笹川科学研究助成（海洋・船舶科学研究）対象者一覧表 .....	32
(4) 平成25年度海外発表促進助成対象者一覧表 .....	34
(5) 平成25年度外国人研究者訪日研究助成 対象者一覧表 .....	39
(6) 平成25年度「教育・研究図書有効活用プロジェクト」 図書寄贈実績表 .....	40
(7) 平成25年度サイエンスメンター制度 研究一覧表 .....	41



# 平成25年度 事業報告

## 第1 概要

社会的課題の解決や経済再生の原動力として、科学技術とイノベーションの一体的な推進が求められている。しかしながら、科学・技術の振興には、研究投資や研究者の育成が必要とされるほか、広く一般市民の科学に対する関心の高まりが不可欠と言える。また、中国への図書への寄贈を通じた文化交流については、高まる日本語図書への需要に応じる形で大学図書館への寄贈を継続しており、国家間の問題を超越して、着実な進展を見せている。

平成25年度事業実施にあたっては、評議員、理事等のアドバイスを受けながら、ポートレース公益資金による日本財団の助成金を受けて、以下の目的を達成することに努めた。

1. 科学・技術に関する若手人材の育成、研究の全国的な掘り起こしを図るため、318件の科学研究助成を行った。また、助成を受けた研究者の研究活動の成果を社会にアピールするため、成果発表会を開催し、学術成果の広範な浸透・普及の促進を図った。
2. 日本で収集した教育・研究図書を中国の大学・研究機関に約25万冊の日本語図書を寄贈し、日本文化の理解促進を図るとともに、「作文コンクール」「日本知識大会」を実施することにより、日本と中国における相互理解の促進と友好意識の醸成を目指した。
3. 優れた高校生に対する経験豊かな科学者による研究指導制度を試行し、次代の科学・技術を担う人材の育成を目指す一方、難解となりがちな科学・技術を、分かりやすく身近な形で一般に伝える事業を行い、社会への科学・技術の浸透を図った。
4. 本会で開発・製作した体感型実験装置群による展示会を各地で実施し、科学の面白さを伝えるほか、科学実験データベースや科学映像作品をWebサイトで公開することにより科学知識の普及・啓発に努めた。

## 第2 事業の状況

### (1) 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業

本事業は、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施したものである。

#### ① 内容

##### イ. 若手研究者の研究奨励（一般科学研究助成）

- a. 名称 笹川科学研究助成
- b. 対象領域 人文・社会科学および自然科学（医学を除く）
- c. 助成件数 242 件
  - 人文・社会系 37 件 数物・工学系 31 件 化学系 41 件
  - 生物系 92 件 複合系 41 件

[別表（1）平成25年度笹川科学研究助成 対象者一覧表]

- d. 助成金額 152,037,989 円（1 件当たり平均金額 628,256 円）
- e. 申請資格 大学院生あるいは大学等の所属機関で非常勤・任期付き雇用研究者であって、35 歳以下の者（外国人留学生を含む）

##### ロ. 特定分野の研究奨励

###### (イ) 実践研究助成

- a. 名称 笹川科学研究助成
- b. 対象領域

(1) 実践研究：博物館や学校、NPOなどに所属している者が、その活動において直面している社会的諸問題を解決するために調査・研究・開発を行い、問題を解決すべき場でその成果を実践し、その結果を検証報告としてまとめ、広く社会に公開することのプロセスを総称して実践研究とする。

(2) 学芸員・司書等が行う資料の調査・研究：生涯学習施設等で研究の資格を有する学芸員や司書等が行う、その所属先に関連した資料の調査・研究を対象とする。

- c. 助成件数 25 件

[別表（2）平成25年度笹川科学研究助成・対象者一覧表]

- d. 助成金額 9,832,149 円（1 件当たり平均金額 393,285 円）
- e. 申請資格 現場で専門的立場にある者（教員、学芸員、図書館司書、スクールカウンセラー、指導員等）

###### (ロ) 海洋・船舶科学研究助成

- a. 名称 笹川科学研究助成

- b. 対象領域 「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」で、その成果が海洋・船舶関係に直結する研究（人文・社会科学を含む）
- c. 助成件数 51 件  
[別表（3）平成25年度笹川科学研究助成 対象者一覧表]
- d. 助成金額 33,877,840 円（1 件当たり平均金額 664,271 円）
- e. 申請資格 大学院生あるいは大学等の所属機関で研究活動に従事する者であって、35 歳以下の者（外国人留学生を含む）

## 八. 研究成果公表支援

### (イ) 海外発表助成

- a. 名 称 海外発表促進助成
- b. 申請資格 笹川科学研究助成を受けた者
- c. 実施内容
  - (1) 平成25年度「海外発表促進助成」
    - i) 助成件数 71 件（外国人研究者を含む）  
[別表（4）平成25年度海外発表促進助成 対象者一覧表]
    - ii) 助成金額 13,906,064 円（1 件当たり平均金額 195,860 円）
  - (2) 平成26年度「海外発表促進助成」の募集案内および第1期助成計画策定

### (ロ) 訪日研究助成

- a. 名 称 外国人研究者訪日研究助成
- b. 申請資格 笹川科学研究助成を受けた外国人研究者
- c. 助成件数 2 件
- d. 助成金額 2,700,000 円  
[別表（5）平成25年度外国人研究者訪日研究助成 対象者一覧表]

## 二. 「笹川科学研究奨励賞」受賞研究発表会の開催

平成24年度笹川科学研究助成者の各領域 2 名を笹川科学研究奨励賞の受賞者として選出し、平成25年4月26日（金）にANAインターコンチネンタルホテル東京において研究成果の発表会を行った。

## ホ. 「研究奨励の会」（研究者交流会）の開催

平成25年4月26日（金）にANAインターコンチネンタルホテル東京において、「研究奨励の会」を開催し、平成25年度笹川科学研究助成の交付決定通知書を手交した。また、同日同会場にて、研究者間の情報交換の場として「研究者交流会」を開催した。

## へ. 研究助成の推進

a. 募集計画策定等

募集要項の作成および選考方針については、笹川科学研究助成事業委員会において、また、選考基準や選考細則については、笹川科学研究助成領域別選考委員会の議を得て策定した。

b. 公募

大学、研究機関、学会等約 500 箇所および博物館、図書館等約 400 箇所に募集のためのメール配信を行い、広く周知した。

(1) 募集期間

学術研究 平成 25 年 10 月 1 日～平成 25 年 10 月 15 日

実践研究 平成 25 年 11 月 1 日～平成 25 年 11 月 15 日

(2) 応募件数 1,190 件の研究計画の申請を受付した。

(一般科学研究 940 件、実践研究 112 件、海洋・船舶科学研究 138 件)

c. 助成計画原案の作成

笹川科学研究助成領域別選考委員会での審査選考を経て、平成 26 年度笹川科学研究助成計画原案を作成した。

(ロ) 平成 24 年度笹川科学研究助成の研究報告書の整備

(ハ) 研究助成実績資料の整備

② 事業成果

イ. 若手研究者の研究奨励（一般科学研究助成）事業

他から研究助成が受け難い優れた研究者とその研究を全国的に掘り起こし、笹川科学研究助成を行い、研究者の育成をはじめ科学振興の一助に寄与した。

この研究分野は、自然科学のみならず人文・社会科学の研究にも門戸を開き、特に基礎的な学術分野において、他の研究助成機関から助成の受け難い研究課題を全国的に掘り起こすとともに、発想が柔軟で適応力の高い若手研究者が研究に専念できる機会を提供し、その研究を奨励し研究向上への契機とその意欲を盛り上げ、かつ外国人留学生についても研究環境を十分に留意して、若手研究者の育成に大きく貢献した。

ロ. 特定分野の研究奨励

a. 実践研究助成

研究の成果を実践の場に活かすとともに、実践の場を通して広くその分野の活性化・発展に貢献した。

さらに実践研究においては、様々な実践の場における社会的要請の高い研究への支援を目指してきたが、特に今年度から実践過程とその成果を見届けるため、従来の単年度助成に加え、最大 3 年を限度とした複数年度助成を導入した。また、今後予想される多様な審査領域に対応するため、選考委員の補充を実施し、より効果の高い選考を期するために強化を図った。複数年度助成の研究成果については来年度以降を待たなければならないが、十分な期待が寄せられ



る。

b. 海洋・船舶科学研究助成

海洋資源、海洋環境をはじめ海上輸送など海洋・船舶関係全般にわたる科学研究で、他から研究助成が受け難い優れた研究者とその研究を全国的に掘り起こし、笹川科学研究助成を行い、研究者の育成をはじめ海洋科学振興の一助に寄与した。

ハ. 研究成果公表事業

a. 海外発表助成

笹川科学研究助成を受けた研究者の研究活動のより積極的な展開を促し、その成果を社会に普及させるため、海外での研究発表を支援し、学術振興の一助に寄与した。

b. 訪日研究助成

訪日研究助成事業は、過去において留学生として来日し笹川科学研究助成を受けた者で、帰国後、大学・研究機関等に所属し研究を続けている外国人研究者を対象に、留学当時の指導教官からのフォローアップの機会を提供することにより、研究の発展に一定の役割を果たしてきた。平成22年度から4年間にわたり計7名（年2名程度）を助成してきたものの、渡航旅費や滞在費を助成するため、1人当たりの助成額が高額になること、研究分野別にみればこの4年間で全分野をカバーしたことから、本年度をもって終了することとした。

## (2)「教育・研究図書有効活用プロジェクト」事業

本事業は、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施したものである。

### ① 内 容

#### イ. 図書の寄贈

国際理解の深化と友好親善の増進に貢献することを目的に、日本の図書を中国の大学・研究機関等へ寄贈した。

##### a. 図書の収集・寄贈

日本国内において出版社、図書館、企業、大学・研究機関、個人等への提供依頼を経て図書を収集し、寄贈先の教育・研究分野、地域性、蔵書内容等を考慮して策定した「図書寄贈方針」に基づき各大学・研究機関への寄贈図書を選定後、中国の各大学・研究機関へ図書を寄贈した。

(1) 図書収集冊数 約 171,000 冊 (延べ 353 件)

(2) 図書寄贈冊数 245,013 冊

[別表(6)平成25年度「教育・研究図書有効活用プロジェクト」図書寄贈実績表]

#### ロ. 「笹川杯作文コンクール2013」の開催

中国における対日関心の喚起と対日理解の促進を目的に、人民中国雑誌社との共催により、中国全土の青年を対象に各作文コンクールを開催した。

##### a. 「笹川杯作文コンクール」(日本語版)

(1) 実 施 人民中国雑誌社

(2) テーマ 「中日の未来のために私たちができること」

(3) 応募作品数 1,727 点

(4) 審査結果 優勝2点 二等賞2点 三等賞4点 優秀賞10点

##### b. 「笹川杯作文コンクール」(中国語版)

※日中情勢を考慮して本年度の実施を中止した。

#### ハ. 「図書寄贈式」の実施

a. 実施時期 2013年12月

b. 場 所 中国 雲南大学 報告庁

c. 出席者 約100名

d. 内 容 寄贈図書の活用促進と雲南大学との協力関係の強化を図るため、同大学への寄贈図書(14.8万冊余)の寄贈式を実施し、文化交流として図書寄贈事業の意義を日中双方が確認した。また、日本の歴史、公益活動、日中関係等に対する理解の深化を図るため、日本人講師による特別講演会を開催した。

## 二. データベース寄贈式の実施

- a. 実施時期：2013年12月25日（水）
- b. 場 所：日本財団ビル
- c. 出席者：10名（中国社会科学院 近代史研究所 所長、故岡田春夫氏遺族等）
- d. 内 容：日本の図書提供者と中国側受贈者との直接交流による、相互理解の深化を図るため、中国社会科学院が受領してデータベース化した資料（ノートパソコン）を、日本側提供者と本会にそれぞれ授与する式典を実施した。

ホ. 「笹川杯全国大学日本知識大会」の延期開催

日中情勢の影響により2012年度内開催を見送った「笹川杯全国大学日本知識大会」（当初、2012年10月開催予定）を、次のとおり延期開催した。

- a. 開催日：2013年5月18日（予選）、19日（決勝戦）
- b. 場 所：中国人民大学「逸夫会議センター」（北京市）
- c. 参加者：参加60大学（選手各3名180名）、特別参加1チーム（3名）/合計183名
- d. 列席者：約400名
- e. 内 容：中国の若者の対日理解・関心の深化、寄贈図書の活用促進、日本語教育の振興を図るため、中国の大学の日本語学習者を対象として、日本知識と日本語能力を全国規模で検証する機会となる「大会」を開催した。
- f. 結 果：団体戦優勝 東華大学、2位 安徽大学、3位 北京郵電大学（副賞：日本招聘）  
個人戦入賞 6名（同上）

ヘ. 「笹川杯全国大学日本知識大会・作文コンクール優勝者日本招聘」の延期実施

日中情勢の影響により2012年度内実施を見送った「笹川杯全国大学日本知識大会・作文コンクール優勝者日本招聘」（当初、2013年2月実施予定）を、次のとおり延期実施した。

- a. 実施時期：2013年7月24日～2013年7月31日（8日間）
- b. 場 所：東京都、大阪府、京都府、沖縄県
- c. 招聘者：合計28名
  - (1) 「知識大会」関係者17名（学生15名、引率者2名）
  - (2) 「作文コンクール」関係者11名（受賞者8名、引率者3名）
- d. 協力者：合計110名
  - (1) 学生交流に参加した東京の有志大学生、留学生 37名
  - (2) 沖縄県豊見城市関係者、有志学生 46名
  - (3) 沖縄県沖縄市関係者、有志学生 27名
- e. 内 容：日中相互理解の深化と友好交流の促進を図るため、「知識大会」優勝者等と「作文コンクール」優勝者等を招聘し、「日中討論会」を始めとした各種日中交流イベントを開催するとともに、日本文化の体験、地域行事への参加、訪問見学などの広範なプログラムを実施した。

## ② 事業成果

日本の各方面からの広範な協力を得て収集した図書を、中国の各大学のニーズに沿ってきめ細かく選定のうえ年度合計 24.5 万冊余寄贈するとともに、図書寄贈式、特別講演会等の現地開催など寄贈図書の積極的な活用促進を行うことにより、日本文化の伝播、日本理解の促進、日本語教育の振興を図った。

また、中国において、“日本”をテーマに「知識大会」と「作文コンクール」を全国規模で開催するとともに、日本においては、日中若者の直接交流の場となる招聘プログラムを実施することにより、日中相互理解と友好交流の深化を図った。

日中関係が冷え込む中、以上 4 事業の連携実施を通じて日中民間交流を前進させることにより、友好気運を民間から盛り上げるとともに将来の日中関係を担う人材の育成に寄与した。

さらに、各事業に関して、日中両国の主要メディアを通じて広範な報道がなされ、本プロジェクトの意義と日中友好の重要性を社会に印象付けることができた。

### (3)「社会の変化に対応した独自の取り組み」事業

#### ① 内容

##### イ. サイエンスメンター制度の試行

科学好きな理系高校生の課題研究に対し、その分野の専門家等から学校教育の枠にとらわれない指導を行うサイエンスメンター制度を試行した。

a. 件数 6テーマ(生物2テーマ、地学4テーマ)

b. 人数 高校生7名 / メンター 7名、アシスタント 2名

[別表(7)平成25年度サイエンスメンター制度 研究一覧表]

c. 指導方法 メールを主とし、必要に応じて実地指導を行った

d. 内容 平成25年4月からの1年間、夏休みを中心に研究を行い、平成26年3月16日に研究発表会を行った

##### ロ. サイエンスコミュニケーション

難解な科学・技術の社会への浸透を図るため、神奈川県立生命の星・地球博物館の見学会を実施し、一般市民のためにサイエンスコミュニケーションの機会を設けた。

a. 日時 平成25年10月5日(土)

b. 場所 神奈川県立生命の星・地球博物館(神奈川県小田原市入生田499)

c. 参加者 26名

d. 内容 館内の見学と折原貴道学芸員による講演「菌類の多様性と形の不思議」ほか

##### ハ. 「生命科学」テキストの編集

生命科学について、一般向けのわかりやすいテキスト作成に向けて、編集打合せを実施した。

#### ② 事業成果

サイエンスメンター制度では、メンターによる指導を通じて7名の高校生の自由研究は高いレベルでまとめ、試行事業として十分な手応えを得た。さらに試行を継続し、本格的な事業化への検討を行いたい。

サイエンスコミュニケーション事業としての見学会では、わかりやすい内容の講演や、展示説明の解説等が行われた。参加者の満足度は高く、一般の方への科学普及の一助となった。

(4) 「科学知識の普及・啓発」事業

本事業の一部は、モーターボート競走法制定40周年を記念して、ボートレース関係団体からの拠出金により設けた科学・文化振興基金の運用利息をもって実施したものである。

① 内容

イ. 一般市民等への学習支援体制の充実

科学館等での巡回展向け体感型実験装置群の開発・製作及び巡回展の開催準備等を専門家の協力を得て実施した。

(イ) 体感型実験装置群による巡回展の開催

本会で開発・製作した光に関する体感型実験装置群（以下、「装置群」という。）を用いて、次のとおり全国の科学館等を対象に展示会を実施した。

a. 巡回展名称「光の謎を解き明かせ！」

b. 展示内容 全12機種

No.	装置名	体験内容
1	光の肖像画	絵が光の色によって変わるのを見よう
2	光が反射しない部屋	本物の暗闇を体験しよう
3	ホワイトアウト	影のない世界をのぞいてみよう
4	正反対ミラー	他人が見ている自分を見てみよう
5	巨大目玉ロボット	目玉に入って近視を矯正しよう
6	光の散歩道	偏光メガネでかくされた絵や文字を探しだそう
7	透視の部屋	赤外線サーモグラフィで見える世界を小屋の中から確かめよう
8	紫外線写真館	紫外線カメラでチョウが見ている世界をのぞいてみよう
9	レーザー原理模型	レーザーのしくみを水の波におきかえて確かめよう
10	光のマイク	光（レーザー）で音をキャッチしよう
11	3D幻灯館	3D影絵を体験しよう
12	動く立体写真館	自分の姿を立体視しよう

c. 開催場所、開催期間（含開催日数）及び来場者数

全5館

(1) 釧路市こども遊学館（北海道釧路市）

平成25年5月16日～平成25年7月7日（53日間／10,047人）

- (2) 北網圏北見文化センター科学館（北海道北見市）  
平成 25 年 7 月 13 日～平成 25 年 8 月 18 日（32 日間／3,889 人）
- (3) 北海道立オホーツク流水科学センター（北海道紋別市）  
平成 25 年 8 月 24 日～平成 25 年 11 月 4 日（63 日間／2,253 人）
- (4) 旭川市科学館「サイバル」（北海道旭川市）  
平成 25 年 11 月 12 日～平成 25 年 12 月 23 日（42 日間／8,659 人）
- (5) 仙台市天文台（宮城県仙台市）  
平成 26 年 1 月 4 日～平成 26 年 3 月 31 日（66 日間）

なお、「仙台市天文台」は、平成 26 年 4 月 7 日まで開催を継続するものである。

d. 普及活動

各開催館におけるマスコミ等の報道を通じて、社会一般に科学の理解と啓発を行った。

ロ. 科学実験データベース（DB）の公開

広く世界で活用されている伝承的な実験から最近開発されたユニークな実験まで様々な科学実験事例を収集網羅し、これに実験内容や方法のほか、分野、対象年齢、難易度などの検索項目を設けたデータベースを Web サイト上で広く公開した。

a. 委託先

兵庫教育大学原体験教育研究会

b. 内容

- (1) データベース（約 700 事例）
- (2) 原体験コラム（約 140 タイトル）
- (3) Web サイトのリニューアル

Web サイトの全面的に改良し、直感的な検索画面、実験動画の大画面高画質化、イラスト・写真の増加など、視認性・操作性を高め、利用者の増加を図った

ハ. 画期的な表現手法を用いた地球科学の理解推進

科学知識の普及および啓発のため、「気象」をテーマにした企画・編集会議を開催し、「もしも地球が立方体だったら私たちの地球は、そして気象はどのように変わるか」を科学的に予測したアニメの製作及び出前授業等を行った。

a. 企画・編集会議の実施

- (1) 名称 気象物語
- (2) 構成 気象学者など 9 名
- (3) 回数 15 回
- (4) 内容 立方体地球の条件設定、科学的考察に基づく自然現象の予測、シナリオ作成等

b. 科学アニメ（後編）及び解説サイトの製作

- (1) タイトル Cubic Earth -もしも地球が立方体だったら-

(2) 規 格 前後編15分程度のアニメーション（日英対応）

(3) 内 容 前編は英語対応の解説サイトを開設した。後編は、海のある赤道面と極面を考察した科学アニメを制作した。

c. 出前授業の実施

(1) 東海大学海洋学部（静岡県静岡市）

実施時期：平成25年7月10日

参加人数：約100名

(2) 墨田区立小梅小学校（東京都墨田区）

実施時期：平成25年11月16日

参加人数：約40名

(3) 富士宮市立柚野中学校（静岡県富士宮市）

実施時期：平成26年3月11日

参加人数：約100名

② 事業成果

イ. 一般市民等への学習支援体制の充実

釧路を皮切りに北見・紋別・旭川と北海道4館とまわり、最終仙台1館で延べ24,848人が来場した(仙台市天文台については平成26年4月7日まで継続)。北海道では、全12機種のうち、光が反射しなければものは見えないが、反射が強すぎて影ができなくなると何も見えなくなる視覚の特徴を、雪国独特の現象によりうまく解説できた「ホワイトアウト」が特に高く評価されていた。科学の魅力と学習する楽しさを一人でも多くの人々に伝え、科学（理科）離れする時代の流れに抗して科学への認識を改めさせることができた。

ロ. 科学実験データベース（DB）の公開

科学・技術に関する実験事例や話題を整備し、Webサイトで公開しているが、今年度はソフトウェアの更新ならびにデータベースのリニューアルをすることで、検索情報の増加や親しみやすい表示に変更されたことにより、利用者にとっての操作性を改善した。

ハ. 画期的な表現手法を用いた地球科学の理解推進

「気象」をテーマにした企画・編集会議を開催し、「もしも地球が立方体だったら私たちの地球は、そして気象はどのように変わるか」を科学的に予測したアニメの制作を行うとともに、学校等の教育機関にて同アニメを用いたデモンストレーション講義を実施し、今後展開する出前講義の標準化に努め、科学を通じた市民の啓発に向けて準備を整えた。



### 第3 処務の概要

#### 1. 役員等に関する事項

(平成26年3月31日現在)

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)	備考
会長	非常勤	大島 美恵子	平成24年 4月1日	業務の議決 ・執行等	東北公益文科大学名誉教授 (生物化学)	
常務理事	常勤	中村 健治	平成24年 4月1日	会長補佐 日常業務の執行 等	公益財団法人日本科学協会常務 理事 (公益法人業務)	
理事	非常勤	今里 智晃	平成24年 4月1日	業務の議決 ・執行等	広島大学名誉教授 (辞書学)	
同	同	川口 春馬	平成24年 4月1日	同	神奈川大学特任教授 慶應義塾大学名誉教授 (工学、応用化学、高分子合成)	
同	同	木村 龍治	平成24年 4月1日	同	放送大学客員教授 東京大学名誉教授 (気象、海洋、陸水学)	
同	同	高橋 正征	平成24年 4月1日	同	東京大学名誉教授 高知大学名誉教授 (生態学)	
同	同	和崎 春日	平成24年 4月1日	同	中部大学国際関係学部学部長・ 教授 (文化人類学)	
監事	非常勤	坂本 眞輔	平成24年 4月1日	業務執行等の 監査	元(財)日本モーターボート競走 会理事	
同	同	西本 克己	平成24年 4月1日	同	(株)東京ビー・エム・シー代表取 締役社長	

(平成26年3月31日現在)

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)	備考
評議員	非常勤	梶 英輔	平成24年 4月1日	決算の承認等	北里大学副学長・名誉教授 (薬学、医薬品化学)	
同	同	門野 泉	平成24年 4月1日	同	清泉女子大学学長・教授 (英国ルネッサンス演劇、比較演劇学)	
同	同	竹内 啓	平成24年 4月1日	同	東京大学名誉教授 明治学院大学名誉教授 (統計学、計量経済学、数理統計学、日本経済論、近代社会論、科学技術論)	
同	同	梅干野 晁	平成24年 4月1日	同	放送大学教授 東京工業大学名誉教授 (都市建築環境工学)	
同	同	山田 卓三	平成24年 4月1日	同	兵庫教育大学名誉教授 名古屋芸術大学名誉教授 (生物学)	
同	同	渡邊 雄一郎	平成24年 4月1日	同	東京大学大学院教授 (生物学・分子生物学、農学・植物病理学)	

## 2. 職員に関する事項

(平成26年3月31日現在)

職 名	常勤・非常勤	氏 名	採用年月日	担当事務	備 考
総務部 部長 兼 企画室 室長	常勤	佐々城 清	平成22年10月1日	部所管 事務統括	日本財団から出向
総務部 経理課 係長	同	市川 知郷	平成13年8月1日	係所管 事務統括	
総務部 総務課 係員	同	瀧澤 篤	平成25年4月1日	庶務	
業務部 専任部長	同	鳥越 秀行	平成9年10月1日	庶務	
業務部 事業課 課長	同	浅倉 陽子	平成3年11月1日	課所管 事務統括	
業務部 業務課 係員 兼 企画室 係員	同	仙田 明大	平成20年4月1日	庶務	
業務部 事業課 係員	同	浅山 淳	平成24年8月1日	庶務	
教育・研究図書有効活用 プロジェクト室 室長	同	佐々木 文君	平成11年4月1日	室所管 事務統括	
教育・研究図書有効活用 プロジェクト室 課長	同	宮内 孝子	平成11年8月1日	課所管 事務統括	
教育・研究図書有効活用 プロジェクト室 係長	同	吉田 玉果	平成20年4月1日	係所管 事務統括	
嘱託職員 (係長待遇)	同	小柳 千晶	平成5年4月1日	係所管 事務統括	
嘱託職員	同	堀籠 美枝子	平成20年8月1日	庶務	
同	同	深野 康二	平成22年10月1日	庶務	

### 3. 会議等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
(第4回) 平成25年5月31日	1. 平成24年度事業報告および決算報告の承認に関する件 2. 諸規程の改正等に関する件 3. 商議員の選任に関する件 4. 第2回評議員会の開催に関する件	1. 全会一致で承認・可決 2. 全会一致で可決 3. 全会一致で可決 4. 全会一致で可決
(第5回) 平成26年3月14日	1. 諸規程の改正等に関する件 2. 平成25年度収支予算の一部変更に関する件 3. 平成26年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 4. 基金の取崩に関する件 5. 有価証券の買入に関する件	1. 全会一致で可決 2. 全会一致で承認・可決 3. 全会一致で可決 4. 全会一致で可決 5. 全会一致で可決
(第6回) 平成26年3月28日 ※書面開催	1. 職員給与規程の一部改正に関する件 2. 笹川科学研究助成選考委員の選任に関する件	1. 全会一致で可決 2. 全会一致で可決

#### (2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
(第2回) 平成25年6月10日	1. 平成24年度決算報告の承認に関する件	1. 全会一致で承認・可決

(3) 各種委員会

① 笹川科学研究助成事業委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
(第 50 回) 平成 25 年 7 月 12 日	平成 26 年度笹川科学研究助成について	承認
(第 51 回) 平成 25 年 11 月 22 日	1. 笹川科学研究助成領域別選考委員会の設置について 2. 平成 26 年度笹川科学研究助成「学術研究部門」選考方針の策定について 3. 平成 26 年度笹川科学研究助成「実践研究部門」選考方針の策定について	1. 承認 2. 承認 3. 承認
(第 52 回) 平成 26 年 2 月 7 日	1. 平成 26 年度笹川科学研究助成選考結果について 2. 平成 26 年度海外発表促進助成の募集について	1. 確認 2. 承認

② 笹川科学研究助成領域別選考委員会

領 域	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
実践系	平成 25 年 7 月 3 日	平成 26 年度笹川科学研究助成実践研究部門の募集要項等の見直しについて	承認
人文・社会系	平成 26 年 1 月 24 日	平成 26 年度笹川科学研究助成の申請課題の選考について	承認
数物・工学系	平成 25 年 12 月 9 日	平成 26 年度笹川科学研究助成の選考細則の策定について	
化学系	平成 25 年 11 月 29 日		
生物 (A) 系	平成 25 年 11 月 26 日		
生物 (B) 系	平成 25 年 11 月 29 日		
複合系	平成 25 年 12 月 9 日		
海洋・船舶科学系	平成 25 年 11 月 25 日		
実践系	平成 25 年 12 月 13 日		
実践系	平成 26 年 1 月 16 日	平成 26 年度笹川科学研究助成の選考細則の策定及び申請課題の選考について	承認
人文・社会系	平成 26 年 3 月 5 日	平成 25 年度笹川科学研究助成に係る完了報告書の評価及び笹川科学研究奨励賞の選出について	承認
数物・工学系	平成 26 年 3 月 4 日		
化学系	平成 26 年 3 月 3 日		
生物 (A) 系	平成 26 年 3 月 7 日		
生物 (B) 系	平成 26 年 3 月 13 日		
複合系	平成 26 年 3 月 10 日		
海洋・船舶科学系	平成 26 年 3 月 11 日		
実践系	平成 26 年 3 月 12 日		

4. 契約に関する事項

契約年月日	契約相手方	契約の概要
平成 25 年 4 月 1 日	日本財団	2013 年度助成契約 「海洋・船舶科学研究助成」 「科学振興のための研究助成と研究交流」 「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」 「基盤整備」（海洋、公益）
同 上	(株)アイ・ティ・フロンティア	システム及びハードウェアに係る保守契約に関する覚書
同 上	(株)サクセス	会計ソフトウェア及び給与ソフトウェアに係る保守契約
同 上	(株)ヤマタネ	教育・研究図書有効活用プロジェクトに係る業務委託契約
同 上	(株)ワタナベ流通	教育・研究図書有効活用プロジェクトに係る業務委託契約
同 上	(株)倉業サービス	教育・研究図書有効活用プロジェクトに係る業務委託基本契約（自動延長）
同 上	(株)丹青社	「光の謎」の体感型実験装置群による巡回展に係る業務委託契約
同 上	兵庫教育大学原体験教育研究会	科学実験データベースの公開に係る業務委託契約
同 上	中国青年報社、人民中国雑誌社	笹川杯作文コンクール優勝者日本招聘 2013 の実施に係る協定書
同 上	中国人民大学	「笹川杯全国日本語文化知識大会 2013」の実施に関する覚書
平成 25 年 4 月 10 日	楽訳 (株)	翻訳業務の委託に係る覚書
平成 25 年 4 月 12 日	中国教育図書進出口有限公司 国際贈書中心	日本からの寄贈図書の中継についての協定書
平成 25 年 4 月 16 日	(株)パノラマ・ホテルズ・ワン 東京ホテル事業所 ANA インターコンチネンタルホテル 東京	「平成 24 年度笹川科学研究奨励賞受賞研究発表会」並びに「笹川科学研究助成 平成 25 年度研究奨励の会」の運営等に係る業務委託契約
平成 25 年 5 月 31 日	(株)ティファナ・ドットコム	科学実験データベース Web サイトのリニューアルに係る業務委託契約
平成 25 年 6 月 21 日	(株)東京ビー・エム・シー	貸室定期賃貸借契約
平成 25 年 7 月 12 日	公認会計士篠原通夫事務所	監査契約（更新）
平成 25 年 7 月 16 日	東京都	哲学関係等資料譲渡契約
平成 25 年 8 月 1 日	東京海上日動火災保険 (株)	国内旅行総合保険契約（更新）

契約年月日	契約相手方	契約の概要
平成25年9月1日	三井住友海上火災保険(株)	交通事故傷害保険契約(更新)
平成26年2月28日	(株)東京ビー・エム・シー	消費税率改定に伴う貸貸条件変更の覚書
平成26年3月5日	(株)ケー・エー・ジェー	「Cubic Earth ～もしも地球が立方体だったら～ 後篇」製作業務請負契約
平成26年3月10日	東京都	歴史・社会科学関係等資料譲渡契約

#### 5. 申請・届出等事項

年月日	内容
平成25年4月15日	日本財団に平成24年度事業の完了報告書を提出した。 「基盤整備」事業 「海洋・船舶科学研究助成」事業 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業
平成25年4月30日	日本財団に平成25年度「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」事業の変更届を提出した。
平成25年5月14日	日本財団に平成24年度「体感型実験装置群による巡回展の開催」(公益)事業の完了報告書を提出した。
平成25年6月3日	三田労働基準監督署に就業規則の変更届及び意見書を提出した。
平成25年6月21日	内閣府に平成24年度事業報告等に係る書類を提出した。
平成25年7月1日	麻布税務署に平成24年度収支計算書を提出した。
平成25年10月3日	日本財団に平成25年度「海洋・船舶科学研究助成」事業の進行報告書を提出した。
同上	日本財団に平成24年度「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」事業の完了報告書を提出した。
平成25年10月28日	日本財団に平成25年度「科学振興のための研究助成と研究交流」事業、「体感型実験装置群による巡回展の開催」事業、「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」、「基盤整備」事業の進行報告書を提出した。
平成25年10月29日	日本財団に平成26年度助成金の交付申請をした。 1) 「海洋・船舶科学研究助成」事業 2) 「基盤整備」事業(海洋) 3) 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業 4) 「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」事業 5) 「基盤整備」事業(公益)
平成26年1月29日	麻布税務署並びに関係市区町村課税課に平成25年分の給与所得に係る源泉徴収票等の法定調書を提出した。
同上	東京都港都税務所に償却資産申告書等を提出した。

年月日	内 容
平成 26 年 3 月 7 日	日本財団に平成 26 年度助成金支払希望連絡書を提出した。 1) 「海洋・船舶科学研究助成」事業 2) 「基盤整備」事業（海洋） 3) 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業 4) 「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」事業 5) 「基盤整備」事業（公益）
平成 26 年 3 月 29 日	内閣府へ定期提出書類を提出した。
平成 26 年 3 月 31 日	三田労働基準監督署に時間外労働及び休日労働に関する協定の届出をした。

#### 6. その他

年月日	内 容
平成 26 年 1 月 20 日～ 22 日	麻布税務署による源泉所得税の税務調査を受けた。 調査の結果、更正決定等をすべきと認められない旨の通知を受けた。



審査区分名	助成者名	所属機関 名称	所属機関 職名	研究課題	助成金額
人文・社会	奈良 雅史	筑波大学大学院人文社会科学 研究科歴史・人類学専攻	博士課程5年	ムスリム・マイノリティ回族によるイスラム復興運動における「公益」の変容に関する人類学的研究—中国雲南省昆明市の事例から—	500,000
	木村 奈津子	一橋大学大学院社会学研究科 総合社会専攻	博士後期課程4年	希少動物をめぐる保護運動と科学調査の相関に関する人類学的研究—インドにおけるコビトを事例に	650,000
	田村 英子	智山伝法院	常勤研究員	現代ベトナム地域に生きる宗教儀礼の研究—「Vajrav idarana-dharani (金剛摧碎陀羅尼)」に基づく地鎮 作法について	200,000
	野口 久美子	大妻女子大学図書館学課程	非常勤講師	高校教員の読書経験が生徒への読書指導に与える 影響	400,000
	鄭 方彦	東京大学大学院法学政治学研 究科総合法政専攻	博士課程5年	気候変動に対処する多国間協力制度の発展—「気 候変動のレジーム・コンプレックス」への考察を中心に	400,000
	大曲 睦恵	ルーテル学院大学大学院総合人間 学研究科社会福祉学専攻	博士後期課程2年	地域におけるがん緩和ケア患者の子どもに対する専 門的サポート体制の構築—5～7歳児・遺族へのサポ ートを含めて—	450,000
	木村 豊	慶應義塾大学大学院社会学研 究科	博士後期課程5年	戦災死者の集合的記憶に関する社会学的研究	600,000
	梅田 真代	早稲田大学大学院文学研究科 美術史学コース	博士後期課程6年	享保～宝暦年間の絵巻書研究—宝暦年間後期制作 の建部綾足の絵巻書を中心に	500,000
	佐藤 英平	財団法人農政調査委員会	研究員	アミノ酸発酵産業の企業者活動に関する研究	400,000
	三浦 優生	金沢大学子どものこころの発 達研究センターコミュニケーション手法開拓 部門	特任助教	高機能自閉症スペクトラム児におけるコミュニケーション特性の 解明—音声発話コアスの作成と質量的解析から—	650,000
	丸島 和洋	国文学研究資料館研究部	特定有期雇用職員 (特任教授)	高野山宿坊(子院)の新出宗教史料「供養帳」の史料 学的研究	450,000
	後藤 美緒	筑波大学大学院人文社会科学 研究科社会科学専攻	博士課程5年	漫才台本における〈上方文化〉表象の歴史社会学 的研究—台本作家たちの営みに着目して—	550,000
	糸 汐里	総合研究大学院大学文化科学 研究科日本文学専攻	博士後期課程1年	説経正本の調査と研究—地域文芸の発掘と継承に 向けて—	700,000
	小室 加津彦	日本大学大学院工学研究科建 築学専攻建築歴史意匠研究室	博士前期課程2年	建築家アントニ・レオンの設計手法に関する研究—砂 「コン」の成立と構造技師ヤン・セル・スガールに注目して —	550,000
	佐々木 菜緒	明治大学大学院教養デザイン研 究科教養デザイン専攻	博士後期課程2年	ベトナム文学における出産の意味と医療制度の関係	350,000
	古澤 文	愛知大学国際中国学研究セン ター	ICCS研究員	乾燥地域における農業の新たな展開とその課題— 新疆ウイグル自治区、チベット自治区における施設裁 培を事例に—	750,000
	飛内 悠子	上智大学大学院グローバル・スタ ディーズ研究科地域研究専攻	博士後期課程5年	ウガンダ共和国ジョジョ県における聖公会の展開と南 スーダン難民の日常/非日常	400,000
	朝倉 一貴	國學院大学大学院文学研究科 史学専攻	博士後期課程4年	空中写真を用いた道路痕跡検出法の実践的研究	550,000
	平山 雄大	早稲田大学教育・総合科学学術 院教育総合研究所	助手	ブータンにおける近代学校教育制度の導入と受容に 関する実証的比較研究	750,000
	山本 志朗	名古屋大学大学院文学研究科 人文学専攻文化人類学・宗教学 ・日本思想史専門	博士前期課程2年	ギリシャにおけるギリシャ正教文化の人類学的研究—北 部地方のナスタリヤ祭を事例として—	350,000
	神代 ちひろ	京都大学大学院アジア・アフリカ地域 研究研究科アフリカ地域研究専攻	博士課程6年	アフリカ農村における貧困削減をめざす金融とビジネ スの社会的影響に関する研究	820,000
	小林 秀行	東京大学大学院学際情報学府 学際情報学専攻社会情報学コース	博士課程2年	災害復興過程におけるアドホック組織の有効性につ いての研究—東日本大震災における仙台市南蒲生の 復興過程を事例として—	400,000
	石井 由香理	首都大学東京大学院人文科学 研究科社会行動学専攻社会学 教室	博士後期課程3年	「性同一性障害者」の親の当事者理解と関係性構築 に関する研究	550,000
	丸山 真史	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	客員研究員	日本の国家形成期における馬匹生産体制の解明— 日本・中国の馬文化利用の比較を通じて—	700,000
	佐々木 俊介	東京大学大学院農学生命科学 研究科農学国際専攻	博士課程3年	タイ・別カパンジャーの人口割合と有価物の流通経路 の解明—インドネシア共和国バンタル・ガパン廃棄物最終処 分場近隣スラムを事例に—	550,000
	隋 藝	筑波大学大学院人文社会科学 研究科歴史・人類学専攻	博士課程4年	満洲国から中華人民共和国成立初期、民衆への思 想教育及び国民意識の形成に関する研究	700,000

審査区分・名称	助成者名	所属機関・名称	所属機関・職名	研究課題	助成金額
人文・社会	河野 明佳	津田塾大学大学院国際関係学 研究科	博士後期課程4年	70年代体制と70年代の民族意識の形成に関する一考察―「異民族」ホムランド」における「日本人」の事例―	850,000
	佐藤 真理恵	京都大学大学院人間・環境学 研究科共生人間学専攻	博士後期課程3年	17世紀クワ・ルナスの口承文学にみる土着性と文化的重層性をめぐる研究―恋愛長詩『エロクリス』の成立と受容を中心に―	950,000
	谷口 京子	広島大学大学院国際協力研究 科	博士後期課程2年	マウイの生徒の成績に影響を与える要因とカリキュラム到達度に関する分析	550,000
	濱 雄亮	慶應義塾大学文学部	非常勤講師	病縁論の提唱と検証:患者会を軸にした紐帯の比較研究	820,000
	胡 艶紅	筑波大学大学院人文社会科学 研究科歴史・人類学専攻	博士後期課程4年	共産党政権下の中国太湖流域における大型漁船漁民社会の変容―政策の変遷と漁民たちの実践―	450,000
	渡部 孝幸	静岡大学創造科学技術大学院 自然科学系教育部情報科学専攻	博士後期課程1年	言語学に立脚した数式の意味論の構築	400,000
	渡部 春佳	東京大学大学院学際情報学府 学際情報学専攻	博士課程2年	地域における文化的価値創造のメカニズムの解明	250,000
	岩本 綾	慶應義塾大学大学院政策・メディア 研究科(ヒューマンセキュリティとコミュニケーションプログラム)	博士課程2年	高校生時の留学経験が職業生活および社会とのつながりに与える長期的影響―交換留学プログラム参加者への追跡調査を中心に―	570,000
	小田 なら	京都大学大学院737ア・737カ地域 研究研究科東南737ア地域研究 専攻	博士課程5年	現代ベトナムにおける「伝統医学」の形成と実践	580,000
	岩田 薫	明治大学大学院文学研究科史 学専攻考古学専修	博士前期課程2年	8～10世紀における在地窯業生産と土師器・黒色土器生産の関係性(関東東南部の場合)	250,000
	渡辺 浩平	立教大学大学院社会学研究科	博士後期課程3年	「笑い」という相互行為についての民族史的研究:米国先住民教会の「ヨーテ・ミーティング」を事例に	350,000
数物・工学	平 義隆	独立行政法人産業技術総合研 究所計測707ア研究部門	研究員	針葉樹型カーボン構造体を用いた電界放出による短パルス電子ビーム源の開発	700,000
	安齋 太陽	大阪府立大学大学院工学研究 科	助教	低エネルギー放射光角度分解光電子分光および結合強度スペクトル解析を用いた銅酸化物高温超伝導体の準粒子線り込み効果の解明	460,000
	Santanu Banerjee	九州大学応用力学研究所高温フ ラマカ学研究室	学術研究員	磁化プラズマにおけるプラズマ生成と磁力線を横切る輸送におよぼす磁力線曲率と乱流速度場の影響について	1,000,000
	鈴木 良祐	群馬大学大学院工学研究科機 械システム工学専攻	助教	積層型傾斜機能材料の残留熱応力におよぼす焼結助剤傾斜配合の影響	650,000
	成瀬 雅人	埼玉大学大学院理工学研究科 数理電子情報部門電気電子シ ステム工学コース	助教	キャパシタンス包囲構造によるテラヘルツ波超伝導検出器の素子間クロストーク低減	650,000
	長尾 淳司	佐賀大学大学院工学系研究科シ ステム創成科学専攻	博士後期課程3年	臨界レベルを用いた質量流量の測定において生ずる諸問題の解決のための基礎研究	1,000,000
	堺 研一郎	久留米工業高等専門学校制御 情報工学科	助教	鉄シフト系人工格子におけるスピントル電流磁化反転に関する研究	850,000
	宮本 真	九州大学大学院工学府地球資 源システム工学専攻応用地質学 研究室	修士課程2年	流体包有物が明らかにするモンゴル北部・ガットの金鉱化作用	650,000
	桑原 大介	東京農工大学大学院工学研究 院先端機械システム部門	助教	宇宙探査用電気推進器プラズマの2次元電子密度分布観測のためのマイクロ波イメージング干渉計の開発	600,000
	秋月 拓磨	山梨英和大学人間文化学部人 間文化学科	助教	力学系理論を用いた身体動作の特徴抽出に関する研究	800,000
	藤井 達也	独立行政法人産業技術総合研 究所コンパチ化学システム研究センター	研究員	100MPaに至る超高压下における高温高压水中の反応管腐食に関する研究	530,000
	松本 浩一	近畿大学理工学部理学科化学コ ース	助教	ジオールズアルファの電解酸化により生じる有機付加反応種の理論的研究	700,000
	柳 品	佐賀大学大学院工学系研究科シ ステム創成科学専攻	博士後期課程2年	準三次元設計法に基づく高性能プロパティの設計と性能に関する研究	660,000
	佐々木 伸	北里大学理学部物理学科非線 形物理学研究室	助教	ゲージ理論インスタントンと量子可積分系対応およびその高次元拡張	280,000
	鈴木 裕介	東北大学災害科学国際研究所	助教	ひび割れを受けた高密度コンクリート容器のγ線遮蔽性能定量評価	850,000

審査区分・名称	助成者名	所属機関・名称	所属機関・職名	研究課題	助成金額
数物・工学	篠崎 彩子	東京大学大学院理学系研究科 附属地殻化学実験施設	特任研究員	高温高圧下においてH <sub>2</sub> が石英の結晶構造に取り込まれるメカニズムの実験的研究	600,000
	森田 雅明	東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻	修士課程2年	火山から噴出する二酸化硫黄の自動連続観測装置の改良および離島火山での観測	810,000
	鈴木 岳人	東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻	特任助教	一次元亀裂と温度・流体圧・空隙生成相互作用が生み出す地震サイクルの多様性	400,000
	矢田 祐一郎	東京大学大学院情報理工学系 研究科システム情報学専攻	修士課程2年	数値シミュレーションによる神経細胞ネットワーク制御のための電気刺激アルゴリズムの開発及びその培養神経細胞系への応用	680,000
	王 中長	東北大学原子分子材料科学高等 研究機構	准教授	転位配列制御による導電性量子細線の形成技術の開発と物性評価	850,000
	本間 真平	横浜国立大学大学院都市イノベーション 学府都市地域社会専攻	博士前期課程2年	大船渡湾における津波来襲挙動の動画解析	700,000
	堀江 理恵	奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科物質創成 科学専攻	博士後期課程2年	二次元光電子分光法による遷移金属二硫化物の価電子帯原子軌道解析	200,000
	小西 康文	埼玉大学大学院理工学研究科	研究支援者	加速器実験に対するニュートリノ振動実験の相乗効果	550,000
	中川 健一	秋田大学大学院工学資源学 研究科生産建設工学専攻	博士後期課程3年	バドミントンボールの飛行特性の解明と航空工学分野への応用	830,000
	畑 美里	広島大学大学院理学研究科 数理分子生命科学専攻	博士前期課程2年	生物に学ぶ自律分散型モデルシステムの開発	450,000
	坂元 尚紀	静岡大学工学部	助教	薄膜の自己剥離による単結晶自立窒化インジウム薄膜作製技術の開発	650,000
	Le Quynh Nga	東京工業大学大学院理工学研究科 土木工学専攻	博士後期課程1年	淡水生態系の窒素動態に及ぼす浮遊物質の生化学的役割	700,000
	安達 正芳	東北大学多元物質科学研究所	助教	新規窒化アルミニウム液相成長法の成長機構の解明	700,000
	畑村 望宇	横浜国立大学大学院工学府 システム統合工学専攻	博士後期課程1年	形状記憶合金ワイヤ-knittingの数学理論の構築とそのアクチュエータの設計と開発	450,000
	横谷 洋	富山大学大学院理工学研究部 (理学領域)	博士研究員	トッパークの崩壊過程のQCD補正の計算とGPUイベントシミュレータの開発	550,000
中田 和明	東京理科大学理学部物理学科	嘱託助教	J会合体マクロ構造形成による電気光学効果の巨大な増強	830,000	
化学	定松 浩俊	佐賀大学大学院工学系研究科 システム創成科学専攻	博士後期課程2年	海水に含まれるリチウムの回収を目指した高分離能を有するカチオン樹脂の開発	500,000
	服部 倫弘	岐阜薬科大学大学院薬学研究科 薬品化学専攻	博士課程1年	実用化を指向した効率的フロー式接触還元、核還元及びクロスカップリング反応の開発	550,000
	谷本 裕樹	奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科反応制御 科学研究室	助教	新規不飽和イオン合成法を駆使したインドリジンアルカロイド類の効率的合成研究	750,000
	山本 惇司	大阪府立大学大学院工学研究科 物質・化学系専攻応用化学分野 有機・高分子化学講座	博士後期課程1年	脱メチル化を伴う新奇光芳香環化反応の開発によるチロニン縮環型新規アリピンの合成	750,000
	新宅 泰	東京工業大学大学院総合理工学 研究科物質科学創造専攻	博士後期課程2年	メタボラスリカに担持した単核遷移金属種の水溶液中でのメタ酸触媒特性	800,000
	山本 英治	北海道大学大学院工学研究院	博士研究員	シリルランと塩基を用いる形式的求核剤置換反応の反応機構解析	650,000
	小林 勇志	信州大学大学院総合工学系 研究科生命機能・ファイン工学専攻	博士課程2年	粒子集積化マイクロロボットの機能の解明	550,000
	長岡 正宏	東京工業大学大学院理工学研究科 応用化学専攻	博士課程1年	第一周期遷移金属を含む多核反応場によるアルカンの触媒的脱水素化反応の開発	850,000
	富塚 真義	千葉工業大学大学院工学研究科 生命環境科学専攻環境有機 材料化学研究室	博士前期課程2年	イソシアニド-アセチン環化反応を用いた新規1,8-ジシアザヘンチン誘導体の合成と特性	450,000
	川田 千尋	千葉工業大学大学院工学研究科 生命環境科学専攻地圏環境 工学研究室	博士前期課程2年	サーファクタントフリーナノエマルジョンの安定創製とその潜熱蓄熱効果	550,000
	福島 直樹	名古屋市立大学大学院薬学研究科 創薬生命科学専攻薬化学 教室	博士前期課程1年	光により放出制御可能な硫化水素供与化合物の創製	600,000
	中野 隼人	北里大学大学院感染制御科学 府感染制御科学専攻	博士後期課程2年	コロナウイルス骨格を基盤とした創薬リード探索用ライブラリーの開発研究	600,000

審査区分・名称	助成者名	所属機関 名称	所属機関 職名	研究課題	助成金額
化学	津田 七瑛	横浜国立大学大学院環境情報学府環境リソナマネジメント専攻	博士前期課程2年	走査型電気化学顕微鏡を利用したイオン液体中の177-ルテチウム錯体の電析機構解明	550,000
	藏重 亘	東京理科大学大学院総合化学研究科総合化学専攻	博士後期課程2年	魔法数金クラスターの高機能化による新規機能性クラスターの創製	1,000,000
	宮崎 弘一郎	山口大学大学院医学系研究科応用分子生命科学系専攻	博士後期課程2年	新規導電性ポリマーの開発を目指した、光学活性なポリアリル誘導体の合成	550,000
	佐々木 辰憲	東邦大学大学院薬学研究科医療薬学専攻	博士後期課程2年	α-プロテインチンホスファターゼ1B阻害活性を指標とする新規糖尿病治療薬シーズの探索研究	850,000
	中村 宗利	山口大学大学院理工学研究科物質工学系専攻	博士後期課程3年	側鎖にイオン認識部位を有する新規D-A-D型共役高分子の合成と応用に関する研究	550,000
	森崎 千珠	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻	博士後期課程3年	ケミカルイオン手法を用いた腸内バクテリアのin vivoイメージング技術の開発	650,000
	二宮 美雄	大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻	博士後期課程1年	機能性金属ポルフィリンのアロステリック制御に関する研究	750,000
	横山 奈那子	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯科学専攻	博士課程1年	新規蛍光分子導入型ポリリポソームの設計と細胞内イメージングツールへの応用	600,000
	斎藤 昇太郎	茨城大学大学院理工学研究科物質工学専攻	博士前期課程2年	異種高分子担体を配備した多段階抽出型重金属分離システムの開発	450,000
	楢野 哲	京都大学大学院薬学研究科創薬科学専攻	博士課程3年	新規多機能型ポリカルベン触媒の開発とその応用	850,000
	岩井 智弘	北海道大学大学院理学研究院化学部門	助教	ナノ空間触媒の分子デザインに基づく効率的な中環形成反応の開発	750,000
	楊 曉菲	千葉大学大学院薬学研究科分子創薬科学部門分子医薬科学講座薬品合成化学研究室	博士後期課程1年	触媒的な逐次型3成分カップリング反応の開発と医薬品合成への応用	800,000
	本田 寛哉	筑波大学大学院数理工学物質科学専攻	博士後期課程3年	第二級アミン基を有する自己集合型白金錯体の発光挙動	600,000
	古賀 洋平	九州大学大学院薬学府創薬科学専攻生物有機合成化学分野所属	博士後期課程3年	酸化損傷塩基Fapy-dG認識分子の開発およびDNA中での発生部位特定手法への展開	900,000
	河野 瑞貴	金沢大学大学院自然科学研究科生命科学専攻	博士後期課程3年	シロブタンの[4+2]環化付加反応を利用する天然化合物の効率的な全合成	550,000
	王 晨綱	東京工業大学大学院理工学研究科有機・高分子物質専攻	博士後期課程3年	高分子ニトリルキリド反応剤の創成とそれを用いる精密分子集積法の開発	700,000
	吉田 嘉晃	室蘭工業大学大学院工学研究科	博士研究員	振動する鎖を有するπ共役系高分子の精密合成とその構造解析	850,000
	荒木 良太	同志社大学大学院生命医科学研究科医工学・医情報学専攻	博士前期課程2年	0.1%~99.9%の濃度領域で定量計測可能な水素ガスセンサの構築	400,000
	谷藤 溪詩	筑波大学大学院生命環境科学研究科国際地縁技術開発科学専攻	博士後期課程3年	酸性カルサイトバクテリアの酵素糖化における叩解処理とバクテリア残留リグニンの影響	650,000
	飯濱 翔太郎	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生命理工学専攻	博士課程1年	初素クラスターを構成要素とする新規共役大環状化合物の創製とその物理化学的性質の解明	700,000
	飯田 紀士	名古屋工業大学大学院工学研究科未来材料創成工学専攻	博士後期課程2年	π素が生み出す分子間相互作用、Halogen bondingによる機能性色素の合成	700,000
	野々口 斐之	奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科	特任助教	熱電能を有するナノワイヤ不織布の創成	500,000
	片山 将一	愛媛大学大学院連合農学研究科生物資源利用額専攻(配属:香川大学)	博士課程2年	α-プロテインチンゼはどのようにSer/Thr残基とTyr残基を見分けるのか	400,000
	ハン ツィン	岡山大学自然科学研究科化学生命工学専攻	博士前期課程2年	マイクロ波照射による多成分連結反応の開発と有機電子材料および医薬分子への応用	750,000
	津波古 愛	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科専攻	博士前期課程2年	大気エアロゾルに含まれる臭素の挙動に関する研究	650,000
	鈴木 啓佑	静岡大学大学院理学研究科化学専攻	博士前期課程2年	アミン基を有するポルフィリン錯体による酸素の活性化と安定有機分子の酸化	900,000
田中 啓之	九州大学最先端有機エレクトロニクス研究センター	学術研究員	電子スピントロニクス制御能を有するアモルファス分子材料の開発と分子スピントロニクスへの応用展開	600,000	
西川 耀	県立広島大学大学院総合学術研究科生命システム科学専攻	博士前期課程2年	Apteniol類の構造確定と新規ジアルキル型キノリジン系化合物ライブラリーを用いた有用化合物の探索	650,000	
齋藤 健二	新潟大学企画戦略本部若手研究者育成推進室	フェロアトミック助教	ナノ細線状半導体光触媒の簡便合成法の開発	650,000	

審査区分・名称	助成者名	所属機関・名称	所属機関・職名	研究課題	助成金額
生物	野津 了	琉球大学熱帯生物圏研究センター 瀬底研究施設	協力研究員	器官培養系を利用した魚類生殖腺の性的可塑性を司る細胞基盤の解明	590,000
	小笠原 裕太	長浜大学大学院大学院工学部 工学専攻	博士後期課程2年	オートファジーにおける脂質不飽和化の意義	850,000
	福永 圭佑	電気通信大学大学院情報理工学 研究科先進理工学専攻	産学官連携研究員	タンパク質分解系に着目した酵母生理活性ペプチドの探索	550,000
	梅本 尚之	近畿大学大学院農学研究科 バイオ専攻	博士後期課程2年	X線結晶構造解析およびITC滴定実験による新規リチウム阻害剤の阻害反応機構およびリチウム触媒反応機構の解明	650,000
	山崎 孝史	甲南大学大学院自然科学研究科 生命・機能科学専攻	博士後期課程1年	脱凝集活性を持つ分子シャペロンClpB/Hsp104のサブユニット間の協同性の解析	550,000
	藤井 義大	茨城県立医療大学保健医療学部 放射線技術科学科	嘱託助手	ヒト人工3次元培養組織における(難治性)がんの転移・浸潤の実験系の構築とその展開	650,000
	山口 朋子	独立行政法人医薬基盤研究所 創薬基盤研究部幹細胞制御プロジェクト	プロジェクト研究員	マスト細胞の成熟化におけるWntシグナルの役割	1,000,000
	高木 さや香	静岡大学大学院理学研究科 生物科学専攻	修士課程2年	in vitro培養系を用いた胃上皮細胞の増殖・分化に関わる分泌性誘導因子の探索	850,000
	山崎 敦子	筑波大学下田臨界実験センター	非常勤研究員	マスの胚発生を担う「小割球」はいかにしてつくられるのか?一割球の不等分裂に関わるタンパク質の探索	650,000
	釜崎 とも子	名古屋大学大学院理学研究科 生命理学専攻細胞内ゲノミクスグループ	博士研究員	電子線トモグラフィおよび三次元電子顕微鏡による有糸分裂紡錘体構築メカニズムの解析	600,000
	沈 燕	日本大学生物資源科学部	ポストドクトラルフェロー	マウスの2型糖尿病ならびにエネルギー代謝改善効果とその作用メカニズムに関する研究	550,000
	長田 洋輔	東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻生命環境科学系	助教	スフィンゴシン-1リン酸による筋衛星細胞活性化制御機構の解明と筋再生促進への応用	720,000
	小野寺 章	神戸学院大学薬学部発生分化研究室	リサーチ(博士研究員)	低温ストレス・低体温による細胞運動への影響	550,000
	中山 義敬	東京学芸大学教育学部生命科学分野	研究員	コリネ型細菌のグルタミン酸透過性機械受容チャネルの電気生理学的解析	540,000
	有岡 祐子	岐阜大学大学院医学系研究科 病態情報解析医学講座	助教	人工多能性幹細胞(iPS細胞)樹立の過程は発生過程の巻き戻しなのか?一細胞分化系統からみたiPS細胞樹立メカニズムの解明	850,000
	岩館 佑未	首都大学東京大学院理工学研究科 生命科学専攻分子遺伝学研究室	博士後期課程2年	定常期で働くユビクイitinaseタンパク質が関わるストレス耐性(細胞の品質管理)機構におけるシグナル伝達経路の解析	850,000
	小林 史幸	日本獣医生命科学大学応用生命科学部 食品科学科	助教	低加圧二酸化炭素マイクロナノバルブによる酒類の酵素失活に関する研究	600,000
	太田 恵子	名城大学大学院農学研究科 農学専攻	修士課程2年	輸送シグナルを改変したモノテルペン合成酵素遺伝子の導入によるローマカモミルの香質改変	590,000
	児玉 豊	宇都宮大学バイオエクス教育研究センター	助教	核内低温度定位運動における細胞骨格分子の動態	720,000
	小野木 康弘	富山大学大学院医学薬学教育 部薬科学専攻	博士後期課程1年	PDGFシグナル遮断による肥満と糖脂質代謝改善機構の解明	650,000
	一番ヶ瀬 智子	武蔵野大学薬学研究所 プロテオミクス客員研究部門	客員講師	スーパーオキシドの核内タンパク質への影響解明のための網羅的プロテオーム解析に関する研究	580,000
	藤田 深里	東洋大学生命科学部	助教	マウス横血管の形成と維持に関わる遺伝子の同定	550,000
	都筑 正行	東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻生命環境科学系	博士課程1年	植物の種子形成に必要なmicroRNAの同定	650,000
	野澤 孝志	東京医科歯科大学大学院医歯学 総合研究科細菌感染制御学分野	フェロアトミック助教	感染免疫機構としてのオートファジーにおけるオートファゴソーム膜新生経路の解析	550,000
	今村 智弘	公益財団法人岩手生物工学研究センター	研究員	生理活性物質レクチンが介する新規開花調節機構の解明	600,000
	金 世伶	東北大学大学院農学研究科	博士後期課程2年	大腸菌の新規アロン排出輸送体の構造と機能に関する研究一膜貫通領域に存在する荷電アミノ酸の意義	820,000

審査区分・名称	助成者名	所属機関 名称	所属機関 職名	研究課題	助成金額
生物	吉村 美穂	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻	博士前期課程2年	マウスの骨における第1咽頭弓発生の解析からみる顎骨進化プロセスの解明	590,000
	鎌田 龍星	山口大学大学院理工学研究科	学術研究員	節足動物内在性RNAウイルス因子の機能解析のための基盤的研究	450,000
	中沢 由華	長崎大学原爆後障害医療研究所分子医学研究分野	フェロラック助教	損傷DNA修復機構の1つである転写共役メカニズムの除去修復機構開始反応の詳細解明	600,000
	内藤 由紀	近畿大学大学院農学研究科水産学専攻	博士前期課程2年	魚病細菌Flavobacterium psychrophilumはいつでも宿主を選択しているのか?	650,000
	高橋 晶子	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻生体情報学研究室	博士後期課程3年	Kiss1レセプターを介した中枢神経系における生殖制御機構の解明	580,000
	落合 博	広島大学大学院理学研究科	特任講師	革新的一塩基置換導入法の確立とヒト遺伝病解析への応用	840,000
	黒崎 陽平	長崎大学熱帯医学研究所	助教	顧みられないウイルス感染症の研究基盤となるショートタイプウイルス作製法の開発	600,000
	石東 祐太	熊本大学大学院生命資源研究・支援センター医学専攻資源開発分野	修士課程2年	マウス凍結卵子における生存能および受精能決定因子の同定	570,000
	袴田 浩	札幌医科大学大学院医学研究科地域医療人間総合医学専攻	博士課程2年	緑膿菌のストレス応答機構の解明	850,000
	厚見 剛	公益財団法人岩手生物工学研究センター	研究員	宿主植物の大規模な形態変化を誘導するウイルス病原性因子の新規翻訳機構解明	500,000
	安西 高廣	名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻(化学系)	博士後期課程3年	ミトコンドリア外膜のβバレル型膜タンパク質の組み込みに関わる膜透過装置SAM/TOB複合体のチャネルSam50のPO-TRAMドメインの構造機能研究	640,000
	高橋 啓人	岐阜大学大学院連合獣医学研究科(配属:帯広畜産大学)	博士課程2年	子宮内膜を構成する細胞の機能に及ぼす胚の影響:3次元培養を用いた細胞間相互作用の解析	600,000
	関澤 彩眞	大阪市立大学大学院理学研究科生物地球系専攻情報生物学研究室	博士後期課程3年	メダカの配偶頻度から見た同時雌雄同体の進化条件	600,000
	佐藤 夕紀	北海道大学大学院薬学研究院医療薬学部門医療薬学分野	助教	トランスポーターNPC1L1を介したミセル化した基質の細胞内取り込みの可視化法の確立とその輸送メカニズムの解明	850,000
	岩崎 由香	慶應義塾大学医学部分子生物学教室	助教	ポリA付加シグナルの回避による長鎖RNA転写機構の解明—170kbのpriRNA前駆体を産み出す仕組み—	650,000
	新谷 正嶺	早稲田大学先進理工学部物理学学科	助手	収縮運動特性に基づくiPS細胞由来心筋細胞の分化達成度合い評価法	840,000
	鈴木 一輝	新潟大学大学院自然科学研究科生命・食料科学専攻応用生命・食品科学コース	博士前期課程2年	塩性土壌の改良に有用な耐塩性アゾバクテリウム菌根菌の探索とその生理的機能の解明	550,000
	栗下 大三	首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻	博士前期課程2年	胃・十二指腸の境界形成において一時的に形成される曖昧な境界の意義	720,000
	下川 周子	独立行政法人理化学研究所免疫アレルギー科学総合研究センター(RCAI)免疫系構築研究チーム	特別研究員	腸管寄生性原虫である赤痢アメーバに対する宿主側感染防御機構の解明	850,000
	東 恭平	千葉大学大学院薬学研究院	助教	細胞増殖必須因子ポリミンによるグリコシル化合成調節機構の解明	720,000
	西村 俊哉	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻	博士課程1年	ヒトiPS細胞由来血小板の作製とヒト血小板減少症の治療	600,000
	古田島 知則	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻	博士後期課程3年	海洋バクテリア類がもつ新規脂肪酸不飽和化酵素の同定	400,000
	大坂 利文	早稲田大学先進理工学部生命医科学科	助教	腸内細菌と粘膜免疫系とのシグナルを介した腸管炎症制御機構の解明	720,000
	小野 久弥	弘前大学大学院医学研究科感染生体防御学講座	助教	毒素変異体を用いたブドウ球菌食中毒原因毒素における嘔吐活性ドメインの探索	720,000
	上野 友也	静岡大学大学院理学研究科生物科学専攻	修士課程2年	マウス肝臓におけるHhex遺伝子を中心とした組織構築メカニズムの解明と、肝再生過程への関与の検証	730,000
	山口 賢彦	静岡県立大学薬学部生体情報分子解析学分野	助教	褐色脂肪の熱産生を誘導する新規因子の分子制御機構の解明	730,000
	大庭 聖子	慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科内分泌代謝ネットワーク医学講座	特任助教	分極ミトコンドリアタンパク質が骨芽細胞に及ぼす影響の分子細胞レベルでの解明	730,000

審査区分名称	助成者名	所属機関名称	所属機関職名	研究課題	助成金額
生物	Nazlina Haiza binti Mohd Y asin	九州工業大学大学院生命体工 学研究生体機能専攻	博士後期課程2年	先駆的ハイトテクノロジー手法を活用した下水汚泥から の高度バイオプラスチック生産	700,000
	小藪 大輔	東京大学総合研究博物館	特任助教	哺乳類の胎子期における骨形成因子による形態的多 様化と適応の発生学的基盤を読み解く	1,000,000
	大慈彌 みち 子	琉球大学理学部海洋自然科学 科	ポストドク研究員	琉球列島におけるクワガタの生態学的基礎研究	590,000
	牧野 崇司	山形大学理学部生物学科	研究支援者	送粉動物の行動から迫る多様な花序の進化的背景	700,000
	澤井 悦郎	広島大学大学院生物圏科学研 究科生物資源科学専攻	博士後期課程3年	マンボウ科魚類の形態および成長に関する調査研究	700,000
	武藤 望生	総合地球環境学研究所	研究推進支援員	メダカ属のみにみられる大きく分化したミトコンドリア DNA系統の正体の解明—分子遺伝学的・形態学的分 析の統合による包括的アプローチ	530,000
	田中 学	京都大学大学院人間・環境学研 究科相関環境学専攻	博士後期課程3年	植物細胞における新規液胞形成のメカニズムを探る	800,000
	銭 深華	横浜国立大学大学院環境情報 学府環境生命学専攻	博士後期課程2年	多雪環境に生育するマツノトウヒ(Abies mariesii)の 遺伝的多様性と形態的可塑性からみた系統地理学 的研究	500,000
	山迫 淳介	愛媛大学農学部環境昆虫学研 究室	特定研究員	ウスヤマキリ属(Bumetopia)における海流分散メカニズム の解明	650,000
	渡辺 崇史	北海道大学大学院環境科学院 生物圏科学専攻生態遺伝学コース	修士課程2年	オオハナシロツバキ(Trillium camschatcense)集団の分 断・孤立化が集団内の花粉動態およびその繁殖成 功に及ぼす影響の定量的評価	640,000
	須黒 達巳	筑波大学大学院生命環境科学 研究科生物科学専攻	博士前期課程2年	分子系統学的手法によるEvarcha属ハイトリガモの隠蔽 種の検討	690,000
	浜端 朋子	京都大学大学院理学研究科生 物科学専攻動物学教室動物系 統学研究室	博士後期課程3年	アマガミの個体数モニタリングに向けた個体群の解明	450,000
	小林 弘和	千葉大学大学院園芸学研究科 環境園芸学専攻	博士後期課程3年	コナラツバキの個体サイズおよび光環境と外生菌根菌群 集の動態の解明	590,000
	伊東 啓	静岡大学創造科学技術大学院 環境・エネルギーシステム専攻	博士課程1年	環境変動下におけるリスカ回避の最適戦略	760,000
	山崎 千登勢	北海道大学環境科学院生物圏 科学専攻	博士後期課程3年	乱婚をする生物においても協力的な雄はより多く の見返りが得られるか：ヤマウチキの協力的造果行 動と交尾回数・獲得卵数の関係	500,000
	須貝 杏子	琉球大学熱帯生物圏研究セン ター	ポストドク研究員	小笠原諸島の木本種にみられる遺伝的に分化した エゴイブの形成・維持要因の解明	650,000
	中川 光	神戸大学大学院理学研究科	学術研究員	魚類のトウダウ効果の河川間変異が底生動物の群 集構造に及ぼす影響	700,000
	鶴田 燃海	岐阜大学応用生物科学部森林 生態学研究室	技術補佐員	ソメイヨシノの連鎖地図の構築およびドングリとの交雑 における実生の生育不全を引き起こす遺伝子座の マッピング	790,000
	大竹 周作	東京海洋大学大学院海洋科学 技術研究科海洋環境保全学専 攻	博士前期課程2年	甲殻類の卵に擬態する寄生性カイアシ類の生活史	690,000
	上原 隆司	静岡大学創造科学技術大学院 環境・エネルギーシステム専攻	特任助教	動物社会の競争から考えるいじめ問題の解決に関 する研究	610,000
	戸篠 祥	北里大学大学院水産学研究科 環境生物学講座水圏生態学研 究室	博士後期課程3年	南西諸島に出現する立方クワガタ類の分類学的検討	550,000
	奥野 正樹	岐阜大学大学院連合農学研究 科昆虫生態学研究室	特別協力研究員	日本産アリ類の巣場所選択シロアリの出す抗菌物質の 二次利用の観点からの解明—	650,000
	栗崎 政希	名古屋市立大学大学院システム 自然科学研究生体情報専攻	博士後期課程2年	核コードcDNA塩基配列を用いた新しい系統解析法の 開発とベッコウ類の系統的な位置づけの解明	600,000
	松田 春菜	徳島大学大学院リソス・アーツ・アンド・ サイエンス研究部	特別研究員	メダカイシヤコ貝類の保全に向けた分類学的再検討	790,000
	齊藤 浩明	名城大学大学院農学研究科農 学専攻	修士課程2年	唯一の在来半水生ほ乳類カネシメの生態学的機能と 保全方法の解明	600,000
	高岡 愛	首都大学東京大学院理工学研 究科生命科学専攻	博士前期課程2年	海洋島における外来種駆除後の植生回復—海鳥の 営巣型による土壌の違いが植物の成長に及ぼす影 響—	630,000

審査区分名称	助成者名	所属機関 名称	所属機関 職名	研究課題	助成金額
生物	水谷 友一	名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻物質循環構造学講座	博士後期課程5年	海洋生態系高次捕食者の存在は環境変化の影響を受けるのか	520,000
	高野 剛史	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士課程1年	ハコウ科腹足類における進化カールでの寄生戦略・形態多様化の解明	750,000
	城川 祐香	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	特任研究員	汽水域珪藻の血縁認識と生殖隔離：“自己”と“他者”の識別機構	770,000
	渡辺 峻	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科水産学専攻(長崎大学環東シ環境資源研究センター)	博士前期課程2年	野外のバショウガキ(stiophorus platypterus)における背びれのモトリングー採餌戦略および背びれの機能の解明	630,000
	小林 喬子	東京農工大学大学院連合農学研究科環境資源共生科学専攻	博士特別研究員	泳が増えるとかは痩せる?:大型哺乳類二種の餌をめぐる種間関係	780,000
	川根 昌子	奈良女子大学共生科学研究センター	非常勤研究員	汽水性生物の遺伝的多様性保全に必要な要素の検証	640,000
	久米 学	岐阜経済大学地域経済研究所	任期付研究員	希少淡水性二枚貝カシヅメガイにおけるハッチ形成条件および水生昆虫の生息場としての有効性に関する研究	1,000,000
	池谷 仁里	兵庫県立大学大学院生命理学研究科細胞構造分野	客員研究員	接合藻類アキトロの接合誘導物質の特定	670,000
	中川 さやか	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系	博士課程3年	花形態の集団内変異の進化的意義を探る:候補遺伝子からのアプローチ	650,000
	西沢 文吾	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻海洋資源計測学講座	博士後期課程1年	海鳥の漁業投棄物への誘因機構の解明	500,000
	岩原 由佳	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻水圏生物学コース生態系変動解析分野	博士前期課程2年	小型鯨類の混獲リスクマップの作成	520,000
	大村 文乃	東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻遺体科学研究室(東京大学総合研究博物館)	博士課程4年	両棲類有尾目における体幹部運動器形態の水陸環境適応	600,000
	水野 大樹	千葉大学大学院園芸学研究科環境園芸学専攻	博士後期課程1年	乾燥した崖上のシダ植物の定着におけるシダ植物群落の役割	700,000
	複合	植松 みさと	東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復建造物研究室	博士後期課程2年	文化財建造物の室内環境が障壁画の保存状態に与える影響について
野口 里奈		東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	博士課程2年	現在進行している火星の火山活動の解明～アイスランド・ミグアト湖に見られるルトロコンとの比較～	800,000
安里 要		女子栄養大学大学院栄養学研究科栄養学専攻	修士課程2年	沖縄県久米島町における中学生の食習慣と健康との関わり	400,000
原田 健次		中京大学大学院体育学研究科体育学専攻運動生理学研究室	博士課程3年	運動難易度を脳活動から客観的に評価する手法の開発	700,000
北嶋 康雄		東北大学大学院医学系研究科	博士後期課程4年	骨格筋量決定における蛋白分解処理機構の役割	700,000
楠田 佳緒		お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻	博士後期課程1年	RFID技術を用いた医療従事者支援を目的とした手術器械管理システムの開発	750,000
林 拓志		東京大学大学院教育学研究科身体教育学コース	修士課程2年	ヒト運動制御系における最適フィードバック制御機構の行動学的実証	700,000
星野 太佑		東京大学大学院総合文化研究科身体運動科学	助教	運動における小脳の乳酸輸送単体monocarboxylate transporter2(MCT2)の役割の解明	450,000
服部 創紀		東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	博士課程1年	現生鳥類との後肢骨格形態の比較による、獣脚類恐竜の後肢機能と生態の解明	650,000
岩田 歩		金沢大学大学院自然科学研究科自然システム学専攻	博士前期課程2年	スギ花粉の雲形成へ関与する可能性―室内・野外実験を通じたスギ花粉の新たな微粒子発生における水晶体活性評価―	600,000
宮田 紘平		東京大学大学院総合文化研究科身体運動科学研究室	博士課程2年	自己生成情報による知覚―運動シグナルの組織化～発声によるリズム運動シグナルの獲得/遂行の支援～	800,000
李 基赫		日本体育大学大学院体育科学研究科健康科学・スポーツ医学系	博士後期課程2年	伸張性収縮による神経・筋損傷メカニズムの解明	700,000



審査区分 名称	助成者名	所属機関名称	所属機関職名	研究課題	助成金額
複合	大住 倫弘	畿央大学大学院健康科学研究科健康リハビリテーション科学専攻	博士後期課程2年	不快な身体情緒が痛みの閾値および痛みに関連する脳活動に与える影響—特殊な「ハンド」錯覚を用いて—	500,000
	丹羽 雄一	東北大学災害科学国際研究所災害理学研究部門	助教	堆積域におけるワフォルト古地震学的研究手法の適用による高精度な古地震履歴の復元	650,000
	高橋 陽香	総合研究大学院大学生命科学研究科生理科学専攻(配属:生理学研究所心理生理学研究部門)	博士課程4年	社会的情報の統合処理に関わる認知神経メカニズムに対する経頭蓋直流電気刺激の影響	700,000
	鈴木 愛	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科東南アジア専攻生態環境論講座	博士課程2年	カンボジア・アプレヒア森林保護区における食肉目の保全—地域住民の生活圏と食肉目の生息域が地理的に重複する地域について—	750,000
	田中 嘉法	電気通信大学院大学院情報理工学研究科先進理工学専攻生体機能システムコース	博士後期課程1年	生体内で筋細胞内pH制御機構を評価する研究手法の開発	600,000
	深尾 友美	お茶の水女子大学生生活環境教育研究センター	助教	ガリク由来含硫化合物の摂取がアルコール性脂肪性肝炎モデルマウスに及ぼす影響	800,000
	橋本 塁	早稲田大学大学院人間科学研究科人間科学専攻	博士後期課程4年	空腹感に対する連続的曝露が2型糖尿病患者の不適合的食行動の減少に及ぼす効果	450,000
	鍛島 秀明	県立広島大学人間文化学部健康科学科	助教	顔の血流変化からおいしさを評価する試み	650,000
	松山 亮太	岐阜大学大学院連合獣医学研究科獣医学専攻	博士課程2年	牛とヒツジカ間のコロナウイルスおよびロウウイルス感染症の伝播におけるリカファクターの研究	800,000
	池盛 文数	名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻	博士後期課程3年	越境汚染解明を目指した放射性同位体14Cによる大気粒子中炭素に関する基礎研究	550,000
	劉 潔	北海道大学大学院環境科学院環境起学専攻	博士課程1年	キルギス共和国における山岳コミュニティの持続的開発:1991年独立前後のアイ地域土地劣悪化の変容の比較	700,000
	徳久 悟	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科	特任講師	リソソームオートファジーを目的としたプロテオソーム/サビステインのためのターゲットの構築	700,000
	岩崎 有希	聖徳大学大学院人間栄養学研究科人間栄養学専攻	博士後期課程2年	トランス脂肪酸による動脈硬化発症の誘導機構の解析と新規動脈硬化リスク判定規準の検討	750,000
	松田 有司	国立スポーツ科学センター	契約研究員	競泳のスタートにおける経時的な重心速度と加速度算出の有効性の検討	600,000
	東田 一彦	早稲田大学スポーツ科学学術院	助手	骨格筋における脂肪分解抑制因子の同定	800,000
	平内 健一	静岡大学大学院理学研究科地球科学専攻	助教	マントウケツ条件下での蛇紋石のレゾネに関する実験的研究	550,000
	若林 里衣	九州大学大学院工学研究院応用化学部門	助教	両親媒性ペブド分子の静的・動的自己集合制御と生体材料としての機能発現	800,000
	町田 怜子	東京農業大学短期大学環境緑地学科	非常勤講師	阿蘇地域における二次草原と人工林の景観計画に関する研究—阿蘇豪雨被害の教訓を生かした草原再生による国土保全を目指して—	800,000
	大島 健太郎	同志社大学大学院生命医学研究科医工学・医情報学専攻	博士前期課程2年	レーザーによるマイクロ物体の操作・輸送:臨界点近傍の付着液体の特質を活用して	750,000
	柴田 恵理子	札幌医科大学大学院保健医療学部理学療法第二講座	研究支援者	運動イメージと腱振動刺激による求心性入力との統合で生じる運動知覚に関する研究	600,000
	井上 菜穂	鳥取大学大学院医学系研究科脳神経小児科部門	博士課程4年	発達障害児におけるブレインレゾネの現状と実施の効果についての研究	600,000
	西田 梢	独立行政法人産業技術総合研究所地質情報研究部門海洋環境地質研究グループ	ポストドク研究員	海洋環境変動が貝殻微細構造進化へ与える影響の解明	600,000
	猪野 雅史	東京農業大学大学院生物産業学研究科生物生産学専攻	博士前期課程2年	風力発電施設の風車に鳥類が衝突する要因と衝突立地の解明	750,000
	山田 紘子	広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻	博士前期課程2年	XAFS法による日本と中国の室内塵及び公園の砂に含まれる鉛の起源特定	700,000
	五十嵐 健輔	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻	博士後期課程2年	マン菌によるフェリ磁性鉄形成とマン生産	400,000
	畑本 陽一	福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科	博士後期課程3年	家庭用ビデオカメラ映像による人物自動追跡システムから算出するエネルギー消費量の検討	650,000
Mst.Nasrin Nahar	鹿児島大学大学院連合農学研究科(配属:佐賀大学)	博士後期課程3年	パンパティッシュの小児における知能的機能(IQ)・社会的能力(SC)とと素摂取の関連について調査研究	650,000	

審査区分名称	助成者名	所属機関名称	所属機関職名	研究課題	助成金額
複合	岩本 将吾	群馬大学大学院工学研究科工学専攻	博士後期課程3年	タンパク質疎水性部分を模倣した新規糖鎖 $\alpha$ -D-ガラクトース I の合成法確立と小胞体 $\alpha$ -D-ガラクトース I の定量的解析	700,000
	岩野 智	電気通信大学大学院情報理工学研究科先進理工学専攻	博士後期課程3年	材料生物発光を活用した高輝度高安定時発光材料の開発	650,000

助成者名	所属機関名称	所属機関職名	研究課題	助成金額
齋藤 弘一郎	宮城県古川黎明中学校	教諭	中学校理科の観察・実験を仮設校舎（普通教室）で行うための教材・教具・指導法の実践研究	500,000
中村 由紀	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食・嚥下リハビリテーション学分野	助教	小児の摂食・嚥下障害に対応した嚥下調整食の検討と実践へ	400,000
堀越 亮	京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻	技術職員	理科で学ぶ世界史 ～高大連携講義（化学実験）の開発と実践	490,000
田中 早苗	特定非営利活動法人アスベの会石川	サブディレクター	高機能自閉症スペクトル障害児・者の自己理解-小集団活動における観察と質問調査による検討-	500,000
境 泉洋	徳島大学大学院リサーチ・アンド・サイエンス研究部	准教授	若年者自立支援のための「若者と社会をつなぐ」CRAFTプログラムの普及・定着	480,000
安藤 正規	岐阜大学応用生物科学部生産環境科学課程	助教	野生動物による被害を受けた山中峠マダモリ群落の回復・保全に関する研究-官民学連携による地域自然資源の維持管理をめざして-	500,000
喜古 正士	早稲田大学先進理工学部物理学科	助手	留学生のための専門語教育に関する研究-専門文脈での一般語の用法と、その用語集への反映方法について-	460,000
今井 正司	名古屋学芸大学ヒューマン学学部	准教授	特別支援教育における神経心理学的介入の効果検証に関する脳科学的検討	460,000
大森 重直	金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科	教授	世界農業遺産能登を支える「まつり」の実践研究	490,000
尾坂 知江子	名古屋市科学館	主任学芸員	走査型電子顕微鏡の有効活用を通じたネイチャーテクノロジー（生き物から学ぶものづくり）を学ぶ魅力的な科学館教育普及プログラムの開発に関する実践研究	490,000
村松 朋子	金沢大学附属病院神経科精神科	助教	発達障害児支援のための家族エンパワメントの挑戦	320,000
古田 豊	立教学院立教新座中学校・高等学校	教諭	富士山頂の環境を教育に活用するための実践方法の開拓と実証～富士山頂の自然から学ぶ実験教材の開発と教育効果の検証～	370,000
市川 寛也	筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術専攻	博士後期課程2年	妖怪伝承の創造性への開発-地域の記憶を可視化する共同プロジェクトの実践を通して-	430,000
國眼 厚志	兵庫県朝来市立山口小学校	教諭	液晶タブレットによる児童生徒卓上板書システムとデジタル投影によるシームレス授業の研究	380,000
山下 俊介	京都大学総合博物館	特定助教	博物館施設における映像記録を用いた行動分析法の開発とその社会的倫理についての実践研究	430,000
上平 千恵	東近江市近江商人博物館	主査（学芸員）	東近江市で生まれた有形・無形の先人の遺産を次代へ伝え、未来のまちづくりを担う人材を育むためのシステムの構築	420,000
見留 武士	和洋女子大学文化資料館	学芸員	QRコード情報をを用いた遺跡検出現場運動型の博物館活用システムの構築	210,000
猿橋 キヨミ	北海道大学附属図書館北方資料室	担当係長	ガラス乾板写真に記録された明治初期から昭和40年頃に撮影された画像の調査	360,000
櫻井 美香	小樽市総合博物館	指導員	港湾都市小樽の菓子文化の歴史と系譜 -菓子木型の詳細調査とその分析-	310,000
高橋 啓一	滋賀県立琵琶湖博物館	上席総括学芸員	博物館、市民、民間が連携した持続的資料調査の実践	330,000
石井 陽子	大阪市立自然史博物館	学芸員	博物館所蔵のボーリングコアを使って大阪平野地下の地層をさぐる-地学分野の学校向け貸し出し教材の開発・運用と防災教育への展開-	340,000
久保 泰	福井県立恐竜博物館	研究員	歯のマイクロCTを用いた手取層産植物食恐竜の食性の解明	310,000
青野 友哉	伊達市噴火湾文化研究所文化課文化財係	学芸員	2000年の海を渡った貝製品 -縄文期の長距離交流の年代的検討と展示解説への活用-	350,000
加藤 太一	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	学芸員	CTスキャンを用いた3次元的形態解析による首長竜の捕食機能の推定	350,000
深瀬 公一郎	長崎歴史文化博物館	主任研究員	博物館・地域ボランティア・学校との連携した文化財ネットワークづくりの実践プログラム作成	320,000

## 〔海洋・船舶科学研究〕平成25年度笹川科学研究助成 対象課題一覧表

(単位：円)

助成者名	所属機関名称	所属機関 職名	研究課題	助成金額
川崎 高雄	情報・システム研究機構国立極地研究所北極観測センター(東京大学大気海洋研究所気候システム研究系勤務)	特任研究員	太平洋表中層の子午面循環に関する磁気リング研究	760,000
梅澤 大樹	北海道大学大学院地球環境科学研究院	准教授	海洋生物の防御機能を模倣した海洋環境にやさしい船底着生阻害剤の合成研究	810,000
大槻 真友子	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻生態系変動解析分野	博士前期課程2年	知床におけるササの来遊パターンに餌および物理環境が及ぼす影響の解明—設置型記録計による音響・環境モニタリング—	890,000
後藤 孝介	独立行政法人産業技術総合研究所地質情報研究部門マグマ熱水鉱床研究グループ	研究員	鉄マンガノラストにおけるウラン同位体比の時間空間変動:海水ウラン同位体システムバランスの解明にむけて	740,000
堀本 高矩	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻資源生物学講座	博士後期課程2年	生活史を通じたサワツトイの摂餌生態の定量化とCarry-over Effectの検証	650,000
片山 智代	創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻	博士後期課程2年	海洋性珪藻の細胞の大きさが非光化学消光に与える影響:極域生態系におけるアイスルジンの強光に対する光保護能力	670,000
松井 広信	金沢大学大学院人間社会環境研究科人文学専攻	博士前期課程2年	四爪鉄錨の考古学的研究—日本海・瀬戸内海発見資料の集成を中心に—	710,000
河津 優紀	九州大学大学院生物資源環境科学府資源生物学専攻水産増殖学研究室	博士課程1年	水産重要種マサジの資源管理にむけた耳石微量元素および安定同位体分析による生活履歴解明	680,000
柴田 晴佳	北里大学大学院水産学研究科沿岸海洋生態学専攻	博士課程3年	三陸沖深海底におけるゴミや津波による流出物の実態把握に関する研究	570,000
桂 将太	東京大学大気海洋研究所海洋物理学部門(理学系研究科地球惑星科学専攻)	博士課程1年	太平洋の熱帯域・亜熱帯域における表層塩分変動の統一的理解	710,000
藤井 学	東京工業大学	助教	海水中における鉄の錯形成・酸化還元反応速度論に関する研究	970,000
中富 伸幸	創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻	博士後期課程2年	アミノ酸の窒素安定同位体比分析によるサンゴ礁生態系における低次栄養構造指標の確立	750,000
清松 啓司	東京大学大学院新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻	特任研究員	日本近海の波浪場を対象とした準リアルタイム予測・解析システムの開発	640,000
高橋 宏司	京都大学フィールド科学教育研究センター	産官学連携研究員	仔稚魚期の経験がマグイおよびマサジの行動に与える影響	750,000
堤 英輔	愛媛大学沿岸環境科学研究センター	研究員	有明海における内部潮汐波の発生域および伝搬特性の解明	770,000
土屋 健司	創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻修復生態学研究室	博士後期課程3年	放射性同位体を使用しない新規のバクテリア生産測定法の開発	610,000
清家 弘治	東京大学大気海洋研究所海洋生態系動態部門底生生物分野	助教	外洋に面した砂浜海岸におけるアサギヨ類の分布状況および生態を解明する	500,000
岡部 宣章	学習院大学大学院自然科学研究科化学専攻	博士後期課程2年	海洋中のヨウ素(安定同位体及び放射性同位体)の循環:化学形態を考慮した生物・地球化学的研究	580,000
山口 直文	茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター	助教	陸上に遡上し湖沼に到達した津波の堆積過程の解明	820,000
岩本 洋子	金沢大学環日本海域環境研究センター	博士研究員	「波の花」に含まれる有機物を測る—海洋性有機物の大気エアロゾルへの寄与	790,000
西村 朋宏	愛媛大学大学院連合農学研究科生物環境保全学専攻(配属:高知大学)	博士後期課程3年	定量PCR法を用いたシラ原因渦鞭毛藻Gambierdiscus属各種の動態解明	850,000
柴原 誠	神戸市立工業高等専門学校	助教	海上分散型発電のためのCO2再生熱交換器に関する研究	920,000
保科 賢司	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻資源生物学講座	博士前期課程2年	海鳥は餌分布の季節変化に対し、採餌域をどう変えるか?—行動及び認知生態学に関する研究	600,000
袁 潮霞	独立行政法人海洋研究開発機構横浜研究所アブリアンションラボ	ポストドクトラル研究員	南半球亜熱帯海洋の季節変動と亜熱帯グレート・ベルト現象の相互作用の研究	600,000
青木 隆一郎	近畿大学大学院農学研究科水産学専攻	博士前期課程2年	完全養殖カマガリノ成長過程における腸内細菌叢の変遷	540,000
石田 祥子	明治大学先端数理科学インスティテュート	研究員	折紙の数理を利用した展開収縮が容易な新しい救命器具に関する研究	710,000
Maung Saw Hto o Thaw	広島大学大学院生物圏科学研究科環境循環系制御学専攻	博士後期課程1年	南部ミャンマー沿岸域における植物プランクトン群集と一次生産性に関する研究	580,000

## 〔海洋・船舶科学研究〕平成25年度笹川科学研究助成 対象課題一覧表

(単位:円)

助成者名	所属機関名称	所属機関職名	研究課題	助成金額
小林 宗誠	高知大学大学院総合人間自然科学研究科理学専攻	修士課程2年	海底混濁堆積物(ヒビグイト)を用いた古南海地震の実態解明	790,000
三好 晃治	地方独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究本部網走水産試験場調査研究部管理増殖グループ	研究職員	超音波レゾナンス手法を利用した曳網軌跡および曳網距離の解明	820,000
福西 悠一	京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所	研究員	ヒメ浮遊期仔魚と着底稚魚の生態的特性に応じた紫外線回避行動の検証	900,000
韓 佳琳	東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻	修士課程2年	波エネキ*を利用して乗り心地よく走る船	700,000
高山 敦好	広島商船高等専門学校商船学科	講師	排ガス充電器と石灰水を用いた静電水スリカ*による排ガス低減技術の開発	770,000
眞中 卓也	東京大学大気海洋研究所海洋底科学部門	博士課程1年	ガンジス・ブラマプトラ水系下流域のδ26Mgから探る岩石風化と海洋のMg収支—海洋生物活動・気候変動への影響の解明を目指して—	530,000
伊 錫鎮	北海道大学水産科学研究院	博士研究員	噴火湾におけるホウガイ*の最適養殖密度の推定	580,000
李 沁潼	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物資源科学専攻	博士後期課程1年	海洋性アモニ酸化古細菌の水柱分布特性の定量的解析	700,000
藤井 博至	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻海洋産業科学講座	博士後期課程2年	漁労作業における船体動揺を考慮した身体負担の評価	390,000
高月 直樹	長崎大学大学院水産・環境科学研究科附属東シ海環境資源研究センター	修士課程1年	インターバルスレ映像カメラによる流れ藻魚類群集の連続モニタリング—一種組成、体サイズ、行動計測を可能にする新技術の開発—	610,000
矢ヶ崎 一浩	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻(大気海洋研究所)	修士課程2年	貝化石のC14年代を用いた東海沖の海底変動履歴の解明	380,000
長谷川 賢太	横浜国立大学大学院工学府システム統合工学専攻海洋宇宙システム工学コース	博士後期課程1年	誘電エラストマー人工筋肉を用いた海洋エネキ*—発電システムの開発	900,000
金子 三四郎	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻	修士課程2年	マダ*の記憶能力の個体発生と記憶機構の解明	570,000
坂田 昂平	広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻地球環境学グループ	博士前期課程2年	北太平洋HNLC海域における鉛同位体比を用いた鉄供給源の解明—北太平洋HNLC海域における大気粒子沈降による生物生産効シムの解明を目指して—	570,000
土井 耕作	甲南大学大学院自然科学研究科生物学専攻系統分類学研究室	博士後期課程1年	海洋の原生生物ワ*レボ*カ*類の基準属Thraustochyrium属の分類学的再編成—特に、基準種T. proliferumの探索—	500,000
西津 卓史	広島大学大学院工学研究科輸送・環境システム専攻	博士前期課程2年	構造過渡応答解析とト*ロジ*最適化に基づく船殻非破壊検査法の構築	860,000
福崎 康司	京都大学大学院農学研究科森林科学専攻	博士後期課程3年	有害有毒植物プランクトンブルームの発生機構に関する研究:植物プランクトンの増殖に対する腐植物質-鉄錯体の与える影響の解明	730,000
徳永 紘平	広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻	博士前期課程2年	パ*ライト中のセ*の価数比を用いたド*ックス計の開発	650,000
森 友彦	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	博士課程3年	東京湾におけるス*キ*の探餌生態およびエネキ*—消費量の推定	620,000
都築 啓太	鳥羽商船高等専門学校	助教	船舶推進動力用全超電導回転機に向けた超電導コイルの電流変化応答に関する研究	650,000
古澤 佑一	金沢大学大学院自然科学研究科物質科学専攻	博士前期課程2年	226Ra, 228Ra, および7Beの空間分布からみた日本海における汚染物質流動の評価	460,000
山崎 彩	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻	博士後期課程1年	不凍タンパク質に着目したカ*カ*上科魚類の寒冷地適応に関する分子生態学的解明	950,000
廣瀬 公子	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	修士課程2年	南西諸島の干潟で優占するカ*カ*属貝類の生殖隔離と個体群維持機構の解明:熱帯島嶼の干潟生態系の保全に向けて	790,000
澤崎 和也	東海大学大学院理工学研究科環境生物科学専攻	修士課程2年	北部北太平洋深海底における生物活性微量金属元素の動態解明	790,000

平成25年度海外発表促進助成 対象者一覧表

(単位：円)

助成者名	所属機関名称	所属機関職名	集会名称	発表題目	開催国	助成金額
村岡 貴博	東北大学多元物質科学研究所生命類似機能研究分野	助教	Gordon Research Conferences, Self-Assembly & Supramolecular Chemistry	A Structuralized Monodisperse PEG as a Protein Aggregation Suppressor	イス	300,000
村松 涉	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医薬品合成化学研究室	テニユアト ラック助教	245th American Chemical Society National Meeting & Exposition	Chemo- and Regioselective Functionalization of Non-Protected Carbohydrates under Practical Conditions	アメリカ	256,000
水川 薫子	東京農工大学農学部水環境保全学研究室	産学官連携研究員	Sixth International Symposium On Flame Retardants (BFR2013)	DEBROMINATION OF BDE209 BY HEPATIC MICROSOME OF FRESH WATER FISH AND MARINE FISH	アメリカ	210,000
古谷 伸子	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	研究機関研究員	5th SSEASR Conference: Healing, Belief Systems, Cultures and Religions of South and Southeast Asia	The Folk Medicine Revival Movement and the Legitimacy of Folk Healers: A Case Study of Mo Mueang in Northern Thailand	フィリピン	109,700
郷 青穎	京都大学防災研究所地盤災害研究部門山地災害環境分野	研究員	European Geosciences Union General Assembly 2013	Landscape evolution in relation with occurrence of gravitational slope deformation and catastrophic landslides	オーストリア	125,570
岩瀬 彬	明治大学黒耀石研究センター	日本学術振興会特別研究員(PD)	Society for American Archaeology 78th Annual Meeting	Use-wear Analysis of the Portable Blade Tools: Organization of Technology among the Upper Paleolithic Foragers in Hokkaido, Northern Japan	アメリカ	163,000
緒方 知徳	広島修道大学人間環境学部	准教授	18th annual congress of the EUROPEAN COLLEGE OF SPORT SCIENCE	The Effect of Mechanical Overload on Fasting-Related Muscle Atrophy	スペイン	300,000
飯島 陽子	神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科食品学研究室	准教授	10th Wartburg Symposium on Flavor Chemistry and Biology	Characterization of the acyclic monoterpenoid biosynthesis responsible for pleasant aroma in fresh ginger rhizome.	ドイツ	210,000
清水 貴夫	総合地球環境学研究所	プロジェクト研究員	Conference on Desertification and Land Degradation	Co-design of practical technique using local materials and knowledge to control water erosion with improvement of household income in Niger, West Africa	ベルギー	250,000
洪 性賛	筑波大学体育科学系	研究員	18th annual Congress of the European College of Sport Science	Ball-foot interaction in impact phase of knuckle shot	スペイン	250,000
小西 美稲子	東京大学生物生産工学研究センター植物機能工学研究室	特任助教	24th International Conference on Arabidopsis Research	The central role of NLP transcription factors in nitrate-inducible gene expression	オーストラリア	210,000
坪井 桂子	神戸市看護大学健康生活看護学領域	准教授	28th Annual Conferences of Alzheimer's Disease International	Regional Support for the Elderly with Dementia and Their Families Based on Nurse Consultation on Memory Loss” Part1: Analysis of Consultation Contents and Support for Those Having Family Members with Memory Loss	台湾	96,060
山西 陽子	名古屋大学大学院工学研究科マイクロナノシステム工学専攻	准教授	Transducers 2013 (The 17th International Conference on Solid-State Sensors, Actuators and Micro systems)	Transportation of mono-dispersed micro-plasma bubble in microfluidic chip under atmospheric pressure	スペイン	200,000
菊地 大樹	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター	客員研究員	Society for American Archaeology 78th Annual meeting	Horse Sacrifice in Pre-Qin Age, China	アメリカ	159,802

## 平成25年度海外発表促進助成 対象者一覧表

(単位:円)

助成者名	所属機関名称	所属機関職名	集会名称	発表題目	開催国	助成金額
米山 雅紀	摂南大学薬学部薬理学研究室	講師	The 24th Biennial Joint Meeting of the ISN-ASN (International Society for Neurochemistry/American Society for Neurochemistry)	Possible involvement of nitric oxide in promotion of neurogenesis following neuronal degeneration in the hippocampal dentate gyrus of adult mice	韓国	200,000
清水 章弘	京都大学大学院工学研究科	助教	223rd ECS Meeting	Design, Synthesis, and Electrochemical Properties of Cyclic 1,2-Diketones As Organic Cathode Materials for Lithium-Ion Batteries	カナダ	190,000
長谷 耕二	東京大学医科学研究所	特任教授	Cell Symposia:Microbiome and Host Health	Commensal Microbiota Shapes The Gut Immune System Through Epigenetic Modifications	ボネチア	270,000
橋爪 祐美	筑波大学医学医療系	准教授	20th International Association of Gerontology and Geriatrics	Releasing oppressed feelings in the caregivers of Japanese parents with dementia: a pilot intervention study	韓国	94,000
関根 紀子	順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ医学(内科)研究室	助教	Experimental Biology 2013	Effects of heat stress on mechanical ventilation-induced atrophy in rat diaphragm	アメリカ	230,000
松山 洋	首都大学東京都市環境科学研究科地理環境科学域	准教授	The 8th International Symposium on Digital Earth 2013	Global warming and urbanization affects spring water temperatures in Tokyo, Japan	マレーシア	156,930
井内 真帆	神戸市外国語大学	日本学術振興会特別研究員	13th International Association for Tibetan Studies	A Study on Rwa sgreng Monastery in the Early Period of Bka' gdams pa School	モンゴル	125,000
石田 竜弘	徳島大学大学院ヘルスケア工学研究部	准教授	Gordon Research Conferences, Cancer Nanotechnology	Immunological response to PEGylated nanocarriers: anti-PEG immunity	アメリカ	272,883
甲田 菜穂子	東京農工大学大学院農学研究院共生福祉論研究室	准教授	Triennial International Conference of International Association of Human-Animal Interaction Organizations	Psychological evaluation of a dog-assisted program in a prison by inmates and handlers	アメリカ	151,000
田中 源吾	独立行政法人海洋研究開発機構海洋・極限環境生物圏領域	研究技術専任スタッフ	17th International Symposium on Ostracoda	Exceptionally preserved Holocene fossil ostracods in tsunamigenic sediments	イタリア	175,000
光延 聖	静岡県立大学環境科学研究所水質・土壌環境研究室	助教	Goldschmidt conference 2013	Coupled micro-XAFS-FISH technique for direct observation of the microbe-metal-mineral interaction	イタリア	183,000
小山 大介	同志社大学理工学部電気工学科	准教授	10th International Workshop on Piezoelectric Materials and Applications in Actuators (IWPMA2013)	Optical lens array with variable focus length and pitch using acoustic radiation force	ドイツ	242,000
三田 薫	筑波大学下田臨海実験センター笹倉研究室	博士研究員	7th International Tunicate Meeting	Establishment of an inbred strain of Ciona intestinalis	イタリア	203,000
望月 慎一	北九州市立大学国際環境工学部環境生命工学科櫻井研究室	特任研究員	40th Annual Meeting & Exposition of the Controlled Release Society	Development of antigen presenting cell specific nucleic acid carrier using b-1,3-glucan	アメリカ	154,000
小林 亮介	筑波大学人文・文化学群	非常勤講師	The 13th Seminar of the International Association for Tibetan Studies	The Negotiations of the Trade Regulations between Tibet and Britain from the Lhasa Convention (1904) to the Simla Conference (1913-1914)	モンゴル	139,000

## 平成25年度海外発表促進助成 対象者一覧表

(単位:円)

助成者名	所属機関名称	所属機関職名	集会名称	発表題目	開催国	助成金額
荒木 亨介	鹿児島大学水産学部 養殖学分野	助教	16th International Conference on Disease of Fish and Shellfish	Adaptive immune response in yellowtail <i>Seriola quinqueradiata</i> induced by formalin-killed <i>Mycobacterium</i> sp. in oil-adjuvant	フィンランド	236,000
谷田 守	金沢医科大学生理学Ⅱ講座	講師	International Union of Physiological Sciences 2013	Hypothalamic AMP-Activated protein kinase is implicated in leptin-induced sympathetic nerve activation.	イタリヤ	195,000
中澤 聡	東京大学教養学部・総合文化研究科	特任研究員	24th International Congress of History of Science, Technology and Medicine	'Innate Force' and Fluid Resistance in W. J. 's Gravesande	イタリヤ	120,000
宮下 彩奈	東京大学大学院理学系研究科附属日光植物園	研究支援職員	INTECOL2013	A novel index of whole-plant carbon-balance indicates growth and regeneration potentials of cool-temperate tree species	イタリヤ	281,000
笠原 里恵	特定非営利活動法人「バードリサーチ」	研究員	The 11th INTECOL Congress, Ecology: Into the next 100 years	ANALYSIS OF THE DIET OF EURASIAN TREE SPARROW NESTLINGS IN URBAN AND RURAL ENVIRONMENTS BY STABLE ISOTOPE ANALYSIS	イタリヤ	280,000
福田 美保	独立行政法人放射線医学総合研究所	博士特別研究員	GoldSchmidt conference 2013	Changes in biological pump by <sup>230</sup> Th-normalized flux of biogenic components recorded in the Chilean margin sediment during the past 22kyr.	イタリヤ	293,000
リム リーフ	岐阜大学工学部化学・生命工学科生命化学コース	准教授	44th IUPAC World Chemistry Congress	Development of Highly Functionalized Zwitterionic Monolithic Columns for Capillary Liquid Chromatography	トルコ	300,000
内野 花	大阪大学コミュニケーションデザインセンター	特任講師	The 41st International Congress for the History of Pharmacy	FORGOTTEN GLORY AND SHADE OF DATURA IN JAPAN	フランス	227,000
相澤 一美	東京電機大学工学部	教授	EUROCALL 2013	Establishing an online vocabulary levels test by using Flash incorporating COPS theory	ポルトガル	210,000
木村 敏行	北陸大学薬学部	教授	TIAFT 2013 (the International Association of Forensic Toxicologists 2013)	SYNERGISTIC EFFECTS OF SLEEP-PROMOTING SUBSTANCES AND THEIR ANALOGUES ON PROPOFOL-INDUCED SLEEP IN MICE	ポルトガル	265,000
渡邊(奈良) 郁子	東北大学大学院環境科学研究科	産学官連携研究員	Goldschmidt Conference 2013	Millennial-Scale Wet and Dry Climate Changes during the Last Glacial Maximum in the South Siberia	イタリヤ	281,000
長池 卓男	山梨県森林総合研究所	主任研究員	11th International Association for Ecology (INTECOL) Congress	Vegetation homogenization by deer browsing in subalpine vegetation, central Japan	イタリヤ	242,000
津江 広人	京都大学大学院人間・環境学研究科相関環境学専攻分子・生命環境論講座	教授	21st International Conference on the Chemistry of the Organic Solid State (ICCOSS XXI)	Solid-gas sorption behavior of nitrogen-bridged calixarene analogues as controlled by crystal architecture	イタリヤ	266,000
岡田 英孝	電気通信大学大学院情報理工学研究科知能機械工学専攻ヒューマン・インタラクション研究室	准教授	XXIVth Congress of the International Society of Biomechanics	BODY SEGMENT INERTIAL PROPERTIES OF ELITE ATHLETES IN VARIOUS COMPETITIVE EVENTS	ブラジル	293,000
野瀬 光弘	総合地球環境学研究所	外来研究員	2013 International Symposium on Tropical Forest Ecosystem Sciences	Administrative Investment and formation of basement on forestry sector in Japan	マレーシア	153,000



## 平成25年度海外発表促進助成 対象者一覧表

(単位:円)

助成者名	所属機関名称	所属機関職名	集会名称	発表題目	開催国	助成金額
宮本 達雄	広島大学原爆放射線 医学研究所放射線 がん疾患研究分野	助教	American Society of Human Genetics 63rd Annual Meeting	Identification of an extragenic mutation of BUB1B gene for PCS (MVA) syndrome and functional analysis using TAL effector nuclease	アメリカ	240,000
久保 貴紀	安田女子大学薬学部 薬学科	助教	9th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutics Society	Potent Gene Silencing in a Liver-Metastatic Tumor Mouse Model Using Lipid Conjugated siRNAs	イギリス	170,000
実吉 玄貴	林原自然科学博物館	研究員	AGU (American Geophysical Union) 46th annual Fall Meeting	Cathodoluminescence characterization of quartz grains from the Upper Cretaceous of dinosaur fossil localities in the Gobi desert, Mongolia	アメリカ	211,181
藤井 明日香	高松大学発達科学部 子ども発達学科	講師	Division on Career Development and Transition 17th International Conference 2013	Current and issues of Personal Preparation and Professional Development for Transition in Japan	アメリカ	274,000
山本 亮	金沢医科大学医学部 生理学 I	助教	Neuroscience2013 (43rd Annual Meeting of Society for Neuroscience)	Serotonergic modulation on resting membrane potential of lateral amygdala neuron	アメリカ	225,000
清水 和哉	東洋大学生命科学部 応用生物科学科分子 生態学研究室	講師	Society of Environmental Toxicology and Chemistry (SETAC) North America 34th Annual Meeting	Seasonal Analysis of Microcystin degradation by Biological Treatment Facility at a Water Purification Plant in Japan	アメリカ	220,000
鈴木 千賀	神戸大学自然科学系 先端融合研究環鈴木 千賀研究室	助教	GLOBAL CONGRESS on ICM (EMCS10-MEDCOAST2013 JOINT CONFERENCE)	Development of Effective Environmental Management Tools	トルコ	90,000
国府田 良樹	ミュージアム・カ茨城県 自然博物館	首席学芸員	SVP 73rd Annual Meeting	The first nearly complete skull of Stegolophodon (Stegodontidae, Proboscidea) from the Lower Miocene of Japan	アメリカ	180,260
長井 敏	水産総合研究センター 中央水産研究所	主任研究員	North Pacific Marine Science Organization (PICES) 2013 annual meeting	Easy detection of multiple HAB species by nucleic acid chromatography	カナダ	160,000
一島 啓人	福井県立恐竜博物館	主任研究員	20th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals	On the ethmoid and the presphenoid of cetaceans	ニュージーランド	230,000
池田 真行	富山大学大学院理工 学研究部 (理学)	准教授	Society of Neuroscience Annual Meeting 2013	Bmal1 is an essential regulator for circadian cytosolic calcium rhythms in suprachiasmatic nucleus neurons	アメリカ	186,000
箭田 佐衣子	独立行政法人農業環 境技術研究所	農環研特別研 究員	The 11th ESAFS (International Conference of the East and Southeast Asia Federation of Soil Science Societies)	Rapid simultaneous determination of Nitrogen and Oxygen stable isotopes by IRMS	インドネシア	166,151
船坂 徳子	太地町立くじらの博 物館	主事補	20th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals	Analysis of fecal steroid metabolites for estimation of reproductive status in free-ranging Indo-Pacific bottlenose dolphins Tursiops aduncus.	ニュージーランド	190,000
阿部 達雄	鶴岡工業高等専門学 校	助教	SETAC North America 34th Annual Meeting	Daphnia magna immobilization assay application to toxicity of metal salts and the effect of chelate in medium	アメリカ	160,000
田井 明	九州大学高等研究院	助教	Global Congress on Integrated Coastal Management	Secular Change of Semidiurnal Tide in the Ariake Sea, Japan	トルコ	190,000

平成25年度海外発表促進助成 対象者一覧表

(単位：円)

助成者名	所属機関名称	所属機関職名	集会名称	発表題目	開催国	助成金額
徳永 恵津子	名古屋工業大学大学院工学研究科柴田研究室	特任研究員	9th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium in 2013 (AIMECS13)	"Trifluoroethoxy Phthalocyanine Indicates Super Sensitive Solvatochromic Behaviour and its Use for Medicinal Chemistry"	台湾	138,000
佐々木 裕子	北海道大学大学院水産科学研究院	学術研究員	20th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals	Seasonal shift of orca habitat in the western North Pacific	ニュージーランド	192,000
武藤 梨沙	大阪大学蛋白質研究所蛋白質結晶学研究室	特任研究員	The 12th conference of the Asian Crystallographic Association	Crystal structure of Ga-substituted Ferredoxin and its interaction sites for Photosystem I and Ferredoxin-NADP+ reductase	中国	154,691
松井 康哲	大阪府立大学大学院工学研究科物質・化学系専攻応用化学分野池田研究室	非常勤研究員	The 11th International Symposium on Organic Reactions (ISOR-11)	The Excited State C-C Bond Cleavage-Emission System of Methylenecyclopropanes	台湾	78,480
成田 美穂	東京海洋大学大学院海洋科学系環境学部環境測定学研究室	博士研究員	The 15th French-Japanese Oceanography Symposium	Development of an analysis system for matter contributing to turbidity using a three wavelength in situ beam transmissometer	フランス	194,280
福島 慶太郎	京都大学フィールド科学教育研究センター	特定研究員	2013 American Geophysical Union Fall Meeting	Changes in plant-soil feedback regulate ecosystem nitrogen retention during stand development of Japanese cedar plantation after clear-cutting	アメリカ	150,951
池田 英広	西日本工業大学工学部総合システム工学科電気電子工学系	准教授	International Conference on Electrical Machines and Systems 2013 (ICEMS 2013)	Fuzzy Controller of Multi-Inertia Resonance System Designed by Differential Evolution	韓国	99,000
高野 宏平	東北大学大学院生命科学研究所植物生態学研究室	産学官連携研究員	The XIth International Aroid Conference	Pollination mutualism between Araceae plants and Colocasiomyia flies	ベトナム	100,000
石津 美穂	東京大学大気海洋研究所	特任研究員	2014 Ocean Science Meeting	Relationship between oxygen, nitrate, and phosphate in the world ocean based on potential temperature	アメリカ	190,000
尾田 識好	明治大学校地内遺跡調査団	調査員	The 20th Congress of the Indo-Pacific Prehistory Association	Human behavior at the Upper Paleolithic Site of Ogachi-Kato 2, Hokkaido, Japan	カンボジア	110,000
高梨子 文恵	広島大学大学院生物圏科学研究科	特任講師	The 5th International Conference on Environmental and Rural Development	Status of current safe vegetable food system in Hanoi, Vietnam	タイ	98,125
荒井 秀	千葉大学大学院薬学研究院	准教授	247th ACS National Meeting & Exposition	Nickel-catalyzed cyanation of carbon-carbon triple bonds	アメリカ	240,000

平成25年度 外国人研究者訪日研究助成 対象者一覧表

氏名	国籍	所属・職名	研究課題	推薦者 (受入研究者)	受入先	研究期間	研究分野	助成年度
Md. Abdur Razzaque Sarker	バングラデシュ	ラーンシャーヒ大学・准教授	傾斜鏡型赤外線加熱浮遊帯溶解法によるリチウムイオンバッテリー用コバルト酸リチウムおよびジルコニウム酸リチウム単結晶の製造に関する研究	綿打 敏司	山梨大学	2013. 11. 17 ～2014. 2. 28	生物	21年度
Supyani	インドネシア	セマラング大学農学部・講師	白紋羽病菌から分離されたゲノムコントロール因子として潜在力を持つ新規ウイルスの性状解析	鈴木 信弘	岡山大学	2013. 11. 15 ～2014. 2. 28	化学	16年度

平成25年度「教育・研究図書有効活用プロジェクト」図書寄贈実績表

寄贈対象大学	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	25年度	累計
	2013年6月	2013年6月	2013年6月	2013年8月	2013年10月	2013年10月	2013年12月	2014年1月	2014年2月	2014年3月	2014年3月	合計	
黒龍江大学		89					34		33		48	204	148,221
哈爾濱医科大学					88	49	2,578		109		48	2,872	54,606
黒龍江東方学院			15,293		2,399	60	1,029		102	207	48	19,138	179,035
齊齊哈爾大学							20		75		48	143	73,151
延辺大学					534		201		585	333	48	1,701	132,800
吉林大学	2,635				5,096	178	213	9,848	452	2,647	96	21,165	182,937
長春師範大学				434	5,527	1,858	1,372		480	481	48	10,200	125,678
中国医科大学		108					1,331		207		48	1,694	103,889
大連外国語大学		1,506		9,771		190	2,452		588	731	48	15,286	359,336
遼寧師範大学		105					188		58		48	399	48,754
大連医科大学							27		0	54	48	129	36,613
大連海事大学		28					4		16		48	96	86,412
大連理工大学		387					274		732		48	1,441	56,231
遼寧对外经贸学院		21					80		33		48	182	23,550
瀋陽師範大学					621	120	159		374	578	48	1,900	23,308
渤海大学						2,724	8,066		748	11,242	48	22,828	22,828
内蒙古大学					33				1,351	16	48	1,448	1,939
清華大学		164							485		48	697	67,304
北京大学				455	24	46	191		33	266	48	1,063	1,184
中国社会科学院					22				3	41	48	114	6,220
天津師範大学					1,726	222	2,222		90	147	48	4,455	32,384
山東大学				2,670	1,325	546	935		81	649	48	6,254	8,467
山東大学(威海)				114	3,752	207	1,864		241	722	48	6,948	10,787
蘇東師範大学				4,993	1,664	2,022	1,554		91	2,351	48	12,723	24,154
黄崗師範学院									86	701	48	835	835
西南政法大学					11,094						48	11,142	12,680
国際贈書中心					6,418		2,053			144	48	8,663	11,058
大連民族学院											35,521	35,521	35,521
天津外国語大学												0	0
北華大学												0	0
中国海洋大学												0	0
上海師範大学												0	0
上海交通大学	100				187			266	692		48	1,293	71,837
上海海事大学	5,692				10,513			3,796	535	6,123	48	26,707	68,915
南京大学	1,351				603			811	411	399	48	3,623	199,428
江南大学	1,354				309			192	14		48	1,917	195,297
寧波大学	173				250			405	541	258	48	1,675	93,046
蘭州大学	1,713				415			29	129		48	2,334	41,159
貴州大学	55				65				20		48	188	201,454
雲南大学	6,026				2,438			6,198	1,160	605	96	16,523	155,132
広西師範大学	112				122			107	269		48	658	108,743
牡丹江医学院												0	46,134
鶴西大学											48	48	78,759
東北林業大学											48	48	76,933
その他					758							758	43,769
寄贈合計冊数	19,211	2,408	15,293	18,437	55,983	8,222	26,847	21,652	10,824	28,695	37,441	245,013	3,250,488

平成25年度サイエンスメンター制度 研究一覧表

(敬称略)

No.	研究区分	氏名	所属(担当教員)	研究課題/メンター
1	生物	田邊 愛結 樋口 千紘	高知県立高知西高校2年 (近安芳江)	「納豆菌/乳酸菌を材料にした発酵に関する研究」 永田 信治 (高知大学農学部教授) 坂本 奈穂 (メンターズアシスタント; 修士2年) 柳 裕子 (〃; 修士1年)
2	生物	原 果歩	神奈川県立神奈川総合高校2年 (松浦美貴雄)	「ダンゴムシとワラジムシの走光性について」 福山 研二 ((社)国際環境研究協会プログラムオフィサー)
3	地学	森 美里	神奈川県立神奈川総合高校2年 (松浦美貴雄)	「恒星形成領域における観測データ解析」 平松 正顕 (国立天文台チリ観測所助教)
4	地学	中垣 周平	神奈川県立神奈川総合高校2年 (松浦美貴雄)	「鳥とワニの胸郭形態比較-恐竜の腹肋骨の機能解明に向けた予備調査-」 藤田 祐樹 (沖縄県立博物館・美術館主任)
5	地学	西尾 真輝	私立海城高校1年 (上村剛史)	「エアロゾルが夜空の明るさに及ぼす影響～新宿区での夜空の明るさ観測から探る～」 渡部 潤一 (国立天文台副台長)
6	地学	濱田 幸典	私立海城高校2年 (山田直樹)	「酸処理で得られた葛生地域微小腕足動物化石について」 安達 修子 ((財)自然史科学研究所主任研究員) 奥村 よほ子 (佐野市葛生化石館学芸員)

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成26年6月

公益財団法人 日本科学協会

前記のとおり相違ありません。

平成26年 5月14日

公益財団法人 日本科学協会

代表理事（会長） 大島 美恵子

平成25年度事業報告は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

平成26年 5月22日

公益財団法人 日本科学協会

監事 坂本 眞輔 印

監事 西本 克己 印

